

函館市歩行者用案内標識
整備計画書



平成 22 年 2 月

函館市歩行者用案内標識整備協議会

= 目 次 =

1	整備計画の基本方針	1
1.1	計画の目的	1
1.2	計画の基本方針	2
2	試験設置とアンケート調査の検証	3
2.1	試験設置とアンケート調査の概要	3
2.2	アンケート調査の結果（抜粋）と検証	5
3	案内標識の基本デザイン	10
3.1	整備する案内標識の種類	10
3.2	標識のデザイン	10
3.2.1	案内標識の本体デザイン（地図標識・誘導標識）	10
3.2.2	案内標識の表記内容とデザイン（地図標識・誘導標識）	14
4	案内標識の配置計画	22
4.1	配置計画の基本的な考え方	22
4.2	観光エリア別の配置計画	23
4.2.1	西部地区の配置計画（地図標識・誘導標識）	23
4.2.2	五稜郭地区の配置計画（地図標識・誘導標識）	29
4.2.3	湯川地区の配置計画（地図標識・誘導標識）	34
5	整備のスケジュール	39
5.1	計画設置基数の内訳	39
5.2	整備スケジュール	39
5.2.1	計画整備期間	39
5.2.2	整備スケジュール	40
6	維持管理方針	43
6.1	概説	43
6.2	点検及び補修方法	43

資料編は別冊とする

1 整備計画の基本方針

1.1 計画の目的

函館市は、年間約 500 万人の観光客が訪れる全国屈指の観光都市です。近年の函館観光の動向は、台湾・韓国などのアジア諸国からの外国人観光客の増加や団体観光から個人型観光に変化しており、多様化した観光客のニーズに対応した環境の整備が必要となっております。

函館観光は、徒歩で移動しながら観光スポットを巡ることが多く、地理に不案内な観光客が安心して歩くことができる道路環境を創出する必要があります。

このため、平成 20 年 3 月に各道路管理者、観光関連部局・団体、学識経験者をメンバーとし、函館市歩行者用案内標識整備協議会を設立し、各管理者が十分な連携を図り、多言語表記、ユニバーサルデザインを取り入れた歩行者用の標識の整備を進めることとなりました。

本計画は、函館市の観光エリアの歩行者用案内標識の整備にあたり、統一的な地図標識・誘導標識の仕様を定め、また併せて、各エリアの特性にあった案内標識の効果的な配置計画を定め、もって、すべての歩行者を対象として、わかりやすく、安全かつ円滑な移動を確保する案内標識の整備を推進することを目的とするものであります。

参考：協議会の経過

- ・平成 20 年 3 月 18 日 協議会・設立会議の開催
協議会の構成：国土交通省、北海道、函館市、社団法人函館国際観光コンベンション協会、公立はこだて未来大学、函館工業高等専門学校
- ・平成 20 年 4 月～5 月 先進都市の行政視察の実施（小樽市、横浜市）
- ・平成 20 年 6 月 30 日 第 2 回協議会の開催
協議会の議題：講演会、視察報告
- ・平成 20 年 7 月下旬～10 月 西部地区における案内標識現況調査の実施
- ・平成 20 年 12 月 9 日 第 3 回協議会の開催
協議会の議題：現況調査結果報告、試験設置計画案の協議
- ・平成 20 年 12 月末 試験設置計画の策定
- ・平成 21 年 3 月末 試験設置完了（駅前交差点、十字街交差点、各 1 基）
- ・平成 21 年 8 月 試験設置標識に関するアンケート調査実施
- ・平成 21 年 9 月下旬～12 月 標識設置位置の詳細調査及び地図作成
- ・平成 22 年 2 月 10 日 第 4 回協議会の開催
協議会の議題：アンケート調査結果報告、整備計画書（案）について

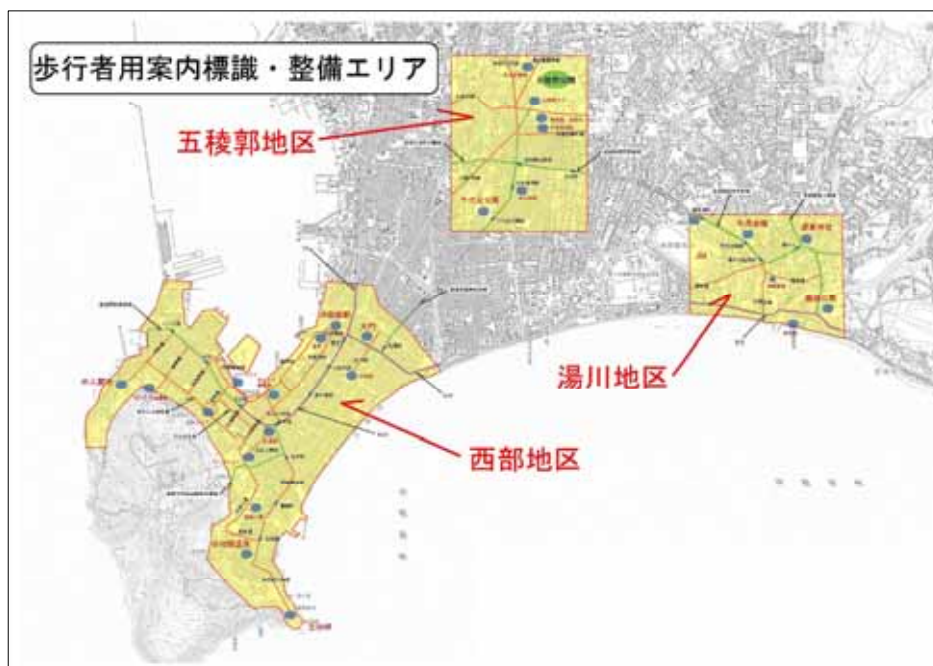
1.2 計画の基本方針

本計画に関する基本的な方針は、次のとおりとする。

整備エリア

案内標識を整備する区域は、主に観光客が多く歩行する西部地区、五稜郭地区および湯川地区の3地区とする。(図1.2.1参照)

図1.2.1 整備エリア図



管理者間での連携

各エリアの道路は、それぞれ国道、道道、市道があり、道路管理者が異なるが、案内標識の整備は、十分な調整・連携を図り、利用者のニーズを考慮し、整備箇所・順序の選定、案内の連続性等を確保しながら事業を推進する。

統一した案内標識の規格

案内標識は、利用者の利便性を考慮して、管理者にかかわらず統一した規格(地図の仕様・デザイン、本体デザインなど)とする。

案内標識の基本コンセプト

案内標識は、高齢者や車椅子使用者、外国人を含めたすべての歩行者を対象とし、ユニバーサルデザイン、配置位置などに配慮するものとする。

2 試験設置とアンケート調査の検証

2.1 試験設置とアンケート調査の概要

平成20年12月開催の第3回協議会において、基本方針に沿った地図標識を試験的に設置する計画を協議し、平成21年3月末に西部地区の函館駅前交差点と十字街電停前の2箇所に標識を設置したものである。

試験設置は、外国人を含めた来函観光客に対するアンケート調査を実施し、デザインや地図の情報などをどのように評価するのかを検証することで、改良すべき点などを抽出し、より使いやすくニーズを捉えた案内標識の整備を図ることを目的として実施した。概要は下記のとおりである。

試験設置の概要

西部地区の函館駅前交差点（R5、R278、R279 交差点）と十字街電停前交差点（R279、道道立待岬函館停車場線）の2箇所に地図標識を設置した。

函館駅前・設置位置



十字街電停前・設置位置



函館駅前・試験設置標識（国土交通省設置）



十字街・試験設置標識（北海道設置）



函館駅前・地図の裏面



函館駅前には、周囲の照明灯等の道路付属物との調和を図るために白を基調としたデザインを採用。既設の矢羽式の誘導標識を利用したため 114B（著名地点案内）は設置しなかった。上部には白色ベースに青字のIマークフラッグを設置

函館駅前・地図デザイン



十字街・地図の裏面



十字街は、周囲の照明灯等の道路付属物との調和を図るために緑を基調としたデザインを採用。114B を併設設置。上部には緑色ベースに白字のIマークフラッグを設置

十字街・地図デザイン



地図のデザインは「地図を用いた道路案内標識ガイドブック」を基本とした。地図上は日本語と英語、凡例部はピクトグラムと5カ国6言語表記。メイン地図は1キロメートル四方、広域地図はその4倍の区域を表示。公共施設のほか、民間の観光関連施設、ホテルなど観光客が利用する施設も表記した。なお、試験設置の詳細については、「函館市歩行者用案内標識試験設置計画書」を参照のこと。また、ホームページにおいて平成21年4月より地図および計画書を公開した。（アクセス件数・4月～9月末まで550件）

アンケート調査の方法

- ・ 現地の標識利用者に対する聞き取り調査。（121人）
内訳：邦人100人＋外国人21人
- ・ 北海道大学および北海道教育大学の外国人留学生に対するアンケート調査（38回答）

利用者アンケート風景



調査期間

- ・現地聞き取り調査：平成 21 年 8 月 1 日～2 日
- ・外国人留学生アンケート調査：平成 21 年 7 月 23 日～8 月 7 日

留学生アンケート風景（北海道教育大学）



調査項目

- ・現地聞き取り調査

標識の利用目的、旅行の事前情報の入手方法、標識の視認性の評価
デザイン評価（本体、マップ内情報、ピクトグラム情報、手持ち情報との
照合容易性、QR コード）

- ・外国人留学生アンケート調査

施設の見つけやすさ、情報量、外国語の表記、ピクトグラムの評価

2.2 アンケート調査の結果（抜粋）と検証

（調査結果・抜粋）

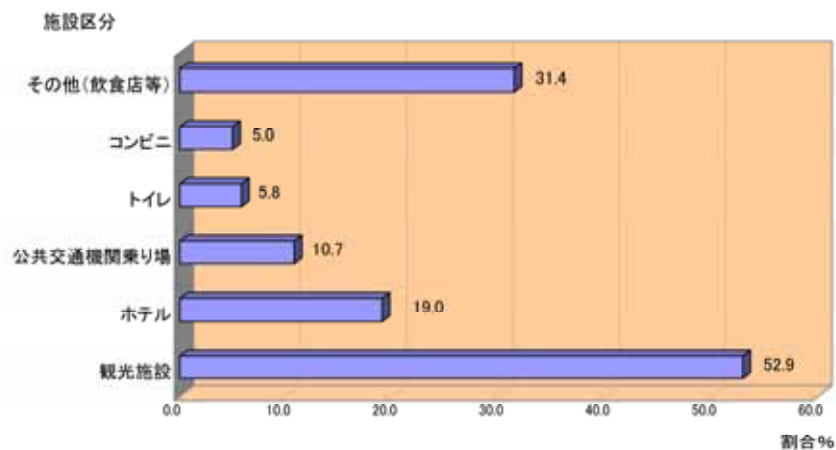
利用目的（複数回答）

「何を探するために、標識を見たか？」という質問に対しては、観光施設が最多で 53%、次いでホテルが 19%であった。具体的な観光施設では、「朝市」、「自由市場」、「金森倉庫」、「函館山ロープウェイ」、「旧イギリス領事館」などがあり、なかには「外国人墓地」、「谷地頭温泉」、「五稜郭公園」などの試験標識の表示エリアの外の施設を探している利用者もあった。

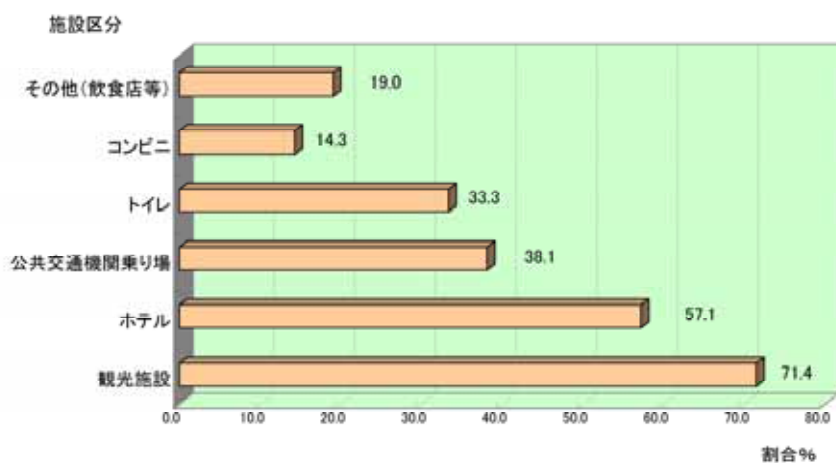
外国人利用者は、邦人と比べて探している施設が多様化する傾向にあり、観光施設が 71%、ホテルが 57%、公共交通機関の乗り場が 38%、またトイレが 33%と以外と多かった。

一方、地図には表記されていない飲食店などを探している利用者も多い傾向がある。

案内標識の利用目的(全体)



外国人の案内標識の利用目的



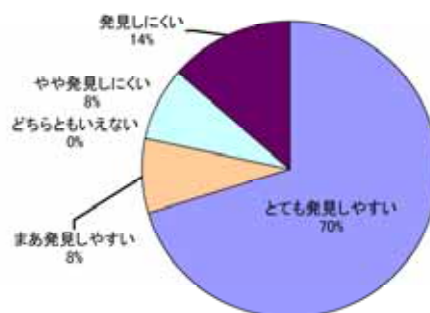
標識の発見しやすさ

「地図標識があることを発見しやすいか?」という質問については、「とても発見しやすい」、「まあ発見しやすい」という回答が70%を占めており、好意的な意見が多かった。

標識の発見しやすさ・函館駅前



標識の発見しやすさ・十字街



また、標識を発見しやすくするための意見を聞き取ったが、「もっと目立つように」、「もう少し標識を大きく」、「iマークを大きく」、「交差点に近い位置のほうがよい」などの意見が比較的多かった。

周辺景観との融和性

標識本体のデザインと周辺景観との融和性

に関する質問については、「とても良い」、「まあ良い」を合わせると80%近くとなり、デザインの融和性は優れているという評価となった。

また、デザインに関する自由意見では、

「もっとカラフルの地図のほうがよい」、

「施設別に色分けしたほうがよい」、

「文字が小さい」、「マップを大きく」、「表示範囲をもっと広く」などの意見が多かった。

周辺景観との融和性(全体)



目的地の見つけやすさ

目的地の見つけやすさに関しては、

「とても見つけやすい」、「まあ見つけやすい」

という好意派は67%に達したが、「やや見つけにくい」、

「見つけにくい」との意見も23%であった。

この件に関する自由意見では、

「記号、施設別に色分けしたほうがよい」、

「文字が小さい」、「広域図をもっとわかりやすく」、

「市電電停、路線網がわかりづらい」などの意見が多かった。

目的地の見つけやすさ(全体)



マップ内の情報量(全体)

マップ内の情報量の評価

マップの情報量の評価については、

約8割が適切であるとの評価であった。

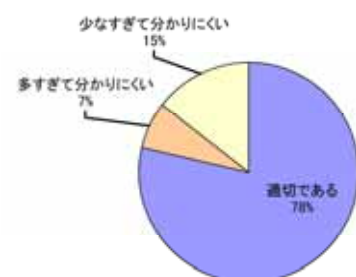
表記情報に関する自由意見としては、

「パーキング、ガソリンスタンドは不要」、

「有名な飲食店を表記してほしい」、

「コンビニの名称を入れてほしい」、

「銀行・病院は観光客に不要」などの意見が多かった。



ピクトグラムの評価

ピクトグラムの評価については、

半数の50%は「とても分かりやすい」、

「まあ分かりやすい」が28%で8割近くの

利用者は好意的であった。

また外国人では、90%が分かりやすいと

いうことであった。

ピクトグラムの評価(全体)



ピクトグラムに関する自由意見としては、
 「色分けがされていた方が分かりやすい」、
 「ホテルはHマークの方が分かりやすい」、
 「郵便局は〒マークの方が分かりやすい」、
 「コンビニはコンビニ会社のマークの方がいい」などが多かった。

手持ち情報（パンフ等）との照合容易性
 パンフ等を持参している利用者に対し調査したが、
 「とても良い」、「まあ良い」を合わせると73%となり、
 照合性は高いとの評価であった。
 特に外国人では、90%が良いという回答であった。

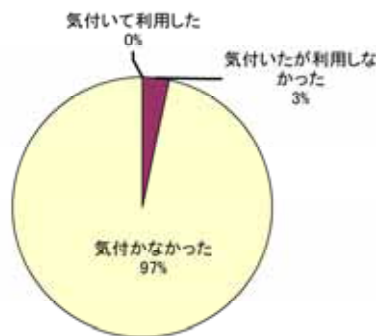


QRコード

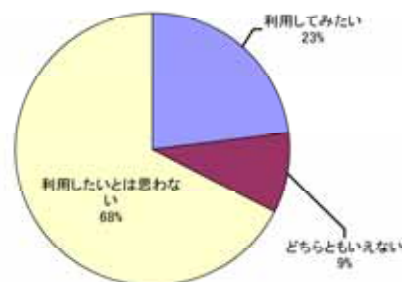
試験的に地図の最下部に飲食店等の紹介をしている
 インターネットサイト「はこぶらネット」のURLと
 そのQRコードを表記している。

この表記に関しての利用者の認知度は、かなり低く「気付かなかった」が97%であった。また、表記が認知された場合、利用するか？との質問については、「利用してみたい」が23%で「利用したいと思わない」が68%となった。なお、10代から20才代までの利用者では、40%近くが「利用してみたい」との回答であった。外国人については、100%が「利用したいと思わない」とのことであった。

QRコードの表記に気付いたか？



発見すればQRコードを利用するか？



凡例等の外国語の表記（留学生のみ調査）
 外国語の表記については、「とても分かりやすい」が65.8%、「まあ分かりやすい」が34.2%で否定的な意見はなかった。
 自由意見としては、「コンビニのCVSの表記に馴染みがない（英語圏）」、「中国語の表現に不適切なものがある」

外国語の表記について(全体)



「コンビニも凡例にあげて多言語表記したほうがいい」
などの意見があった。

(その他)

アンケート調査とは別に試験地図に問い合わせの案内が記載しており、直接、事務局に要望のあった事項は次のとおりである。

- ・地図の設置されている位置の直近の施設との位置関係が分かりやすいような工夫が必要でないか？
- ・公共施設内の不特定多数の利用者に解放しているトイレについても、ピクトグラムで案内できないか？

(聞き取り・アンケート調査のまとめと検証)

調査結果としては、ほとんどが肯定的な結果となった。

しかしながら、自由意見のなかには、もっと使いやすく分かりやすい地図標識とするために、取り入れて改善できるものもあることから、これらを整備計画に反映させることとする。主な項目は下表のとおりである。

アンケート調査の結果検証を踏まえた改善点

項目	内容
広域図	全市的な位置関係、地図表示区域外の主要施設との関係が分かりやすいように、広域図の縮尺を大きくする。
地図	公共施設でトイレを一般開放しているものには、小さいトイレのピクトを併記する。
	市電電停が分かりやすいように安全地帯も赤色で表示する。
凡例・ピクトグラム	カテゴリに分けて色を区分する。
	コンビニについても凡例に多言語でピクトグラム表記する。(CVSの併記は削除する)
	地図上に存在しない施設のピクトグラムは凡例に表記しない。
	現在地も凡例に追加して、多言語表記する。
	市電の路線もバス路線と同様に凡例に追加する。
	ガソリンスタンドのピクトグラムは分かりにくく、必要性が薄いと思われることから削除する。
QRコード	利用頻度が少なく、必要性に疑問があることから削除して地図の大きさを少しでも大きくする。

3 案内標識の基本デザイン

3.1 整備する案内標識の種類

歩行者用の案内標識は、基本的に著名地点案内標識に地図を付設した標識（以下「地図標識」という。）および著名地点に至る方向と距離を案内する標識（以下「誘導標識」という。）の2種類を整備するものとする。

（他都市の設置例）



東京都・銀座に設置されている地図標識



小樽市に設置されている誘導標識



横浜市に設置されている誘導標識

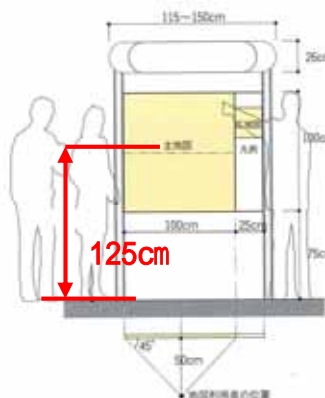
3.2 標識のデザイン

3.2.1 案内標識の本体デザイン（地図標識・誘導標識）

3.2.1-1 地図標識の本体デザイン

地図標識の本体デザインの基本コンセプトは次のとおりとする。

- ・周囲の景観と調和するシンプルなデザイン。
- ・支柱の色は、設置エリアに応じて色彩を使い分ける。
- ・縦断方向からも案内標識の存在が確認できるように、i マークのフラッグを付ける。
- ・設置場所の夜間の状況に応じて、視認性に配慮する必要がある場合は「地球環境にやさしい・ソーラーLED照明」を設置する。
- ・歩道の施設帯部分に設置されることを考慮して、除雪された雪の横荷重についても十分耐えられる構造とする。
- ・掲示の高さ ~ユニバーサルデザインへの配慮~
掲示高さとしては、「立位の利用者と車いす使用者が共通に見やすい範囲である約135cmが考えられるが、車いす使用者に対するアンケートによる「もっと下に設置して欲しい」や「上部が見づらい」といった意見を考慮し「地図の中心の高さを125cm」を基本とする。



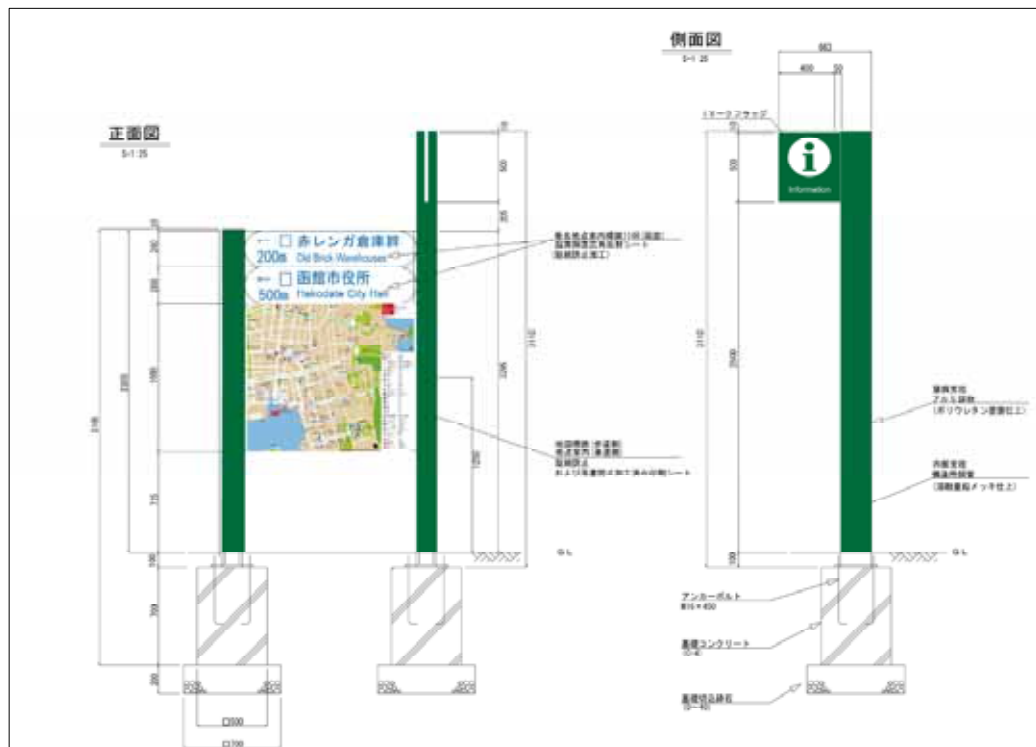
地図標識本体のデザインは114Bに付設した、下図のタイプ(図3.2.1-1-1)を基本とするが、近接して誘導標識がある場合は、114Bを省略できるものとする。

(ソーラーLED仕様は資料編を参照)

支柱のカラーは、街のイメージ・景観との調和を考慮し、西部地区は緑色系(ただし駅前地区は白)、五稜郭地区は白色系、湯川地区は茶系を採用する。

図 3.2.1-1-1 本体のデザイン(114B 著名地点表示付設タイプ)

西部地区



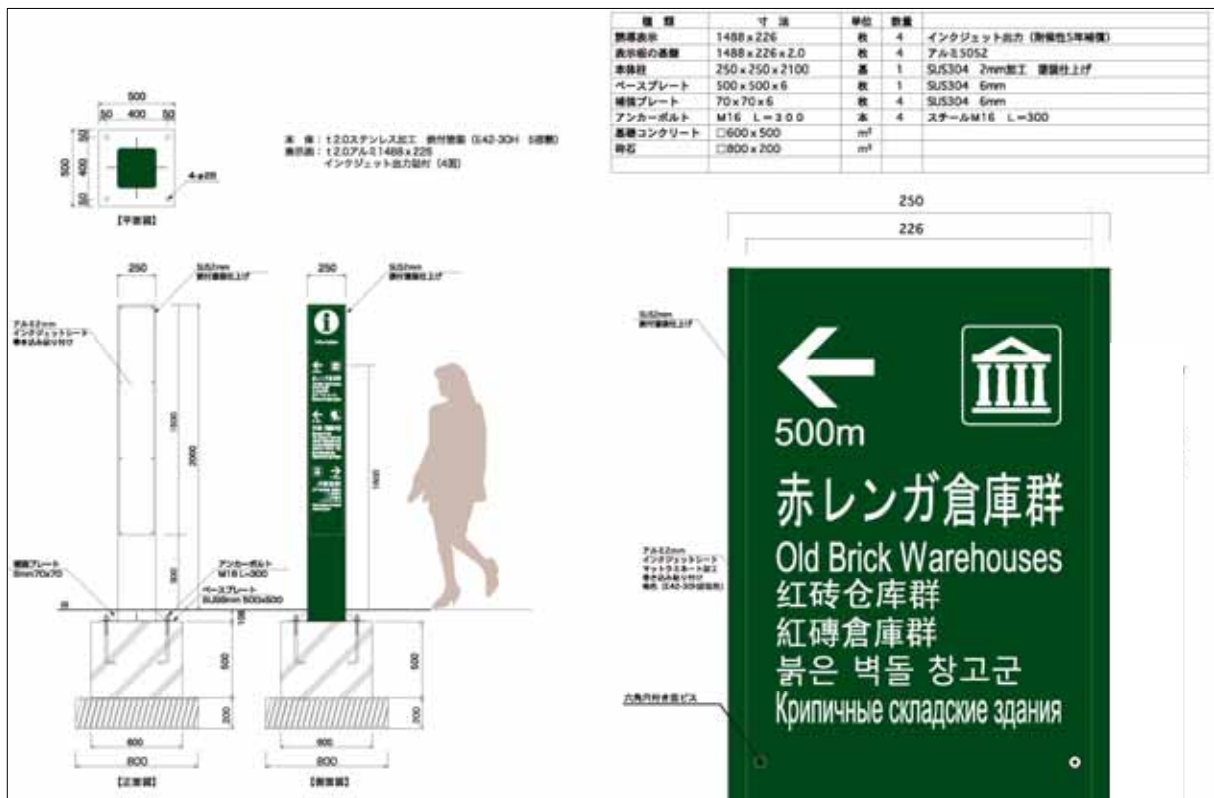
3.2.1-2 誘導標識の本体デザイン

誘導標識についても、地図標識のデザインコンセプトを踏襲するものとし、周囲との景観を重視し、角柱方式を採用する。誘導標識は交差点部に設置するタイプを基本とする。

本体の色彩は、地図標識の支柱のカラーとの整合を図るものとする。

誘導標識本体のデザインは下図(図 3.2.1-2-1)を基本とする。

図 3.2.1-2-1 本体のデザイン



3.2.2 案内標識の表記内容とデザイン（地図標識・誘導標識）

3.2.2-1 地図標識の表記情報

案内標識は、「よく見える」、「理解しやすい」、「役に立つ情報の提供」という要素を確保することが重要であり、これらの考え方に留意する。

また、観光客の手持ちマップとの整合、利便性の向上を図ることから、民間の施設についても一定の基準のもとに表記することとする。

表記する基本的な情報は、次の表のとおりとする。

表 3.2.2-1 地図に表記する基本情報と表記方法

地図に表記する情報		ベースマップ 情報	ピクトグラム	名称
区分	種別			
地形・地物	山、港、河川、埠頭、		-	
道路関係	国道			-
	市道・道道		-	
	歩道		-	-
	横断歩道		-	-
	信号機	-		-
	坂道	-	-	
	橋梁		-	
交通施設	鉄道駅			
	鉄道軌道		-	-
	路面電車・停留所			
	路面電車軌道		-	-
	バス路線		-	-
	バス停留所		-	
	バスターミナル	-		
	タクシー乗り場	-		-
	遊覧船乗り場	-		
	ロープウェイ駅			
	ロープウェイ索条		-	-
区域界等	駐車場	-		-
	町界		-	-
	番地界		-	-
	町名	-	-	
公園・緑地	番地	-	-	
	公園・緑地			
	避難地	-		-
	スポーツ施設		アイキャッチャー	
官公庁施設	史跡		アイキャッチャー	
	官公庁およびその出先機関		ピクトorアイキャッチャー	
	警察署・交番			
	郵便局			
	消防署		アイキャッチャー	
	病院			

注1：道路名称は、都市計画法で定める街路名称で表記する。

注2：バス路線については、原則主要系統バス路線を表記する。

注3：駐車場は、公設の場合は名称も表記する。ピクトグラム表記する駐車場は公設・民設を問わず、利用者を限定しないものを表記する。

注4：病院は、消防法で定義する救急告示病院のみを表記する。

表 3.2.2-1 地図に表記する基本情報と表記方法

地図に表記する情報		ベースマップ 情報	ピクトグラム	名称
区分	種別			
金融機関	銀行等			
学校等	小学校・中学校		アイキャッチャー	
	高等学校		アイキャッチャー	
	大学・専門高校		アイキャッチャー	
	幼稚園		アイキャッチャー	
	その他の学校		アイキャッチャー	
文化施設(公設)	博物館、文学館、資料館等			
	図書館		アイキャッチャー	
	ホール		アイキャッチャー	
公衆トイレ	公衆トイレ			注5
観光施設	民間観光関連施設		アイキャッチャー	注6
	案内所(有人)			
名所・旧跡	教会、神社、寺		ピクトorアイキャッチャー	注6
	記念碑等	-	アイキャッチャー	注6
宿泊施設	ホテル・旅館等			注6
商業施設等	デパート、大規模店舗		ピクトorアイキャッチャー	注6
	コンビニエンスストア	-		-

注5：公衆トイレでバリアフリー対応となっているものについては、車椅子のピクトグラムを併記する。また、公共施設でトイレを一般開放しているものには、小さいトイレのピクトグラムを併記する。

注6：民間施設については、函館観光宣伝共同事業委員会（函館市、函館湯の川温泉旅館協同組合、函館国際観光コンベンション協会）で発行する「はこだてガイドマップ」に記載している施設を表記する。






3.2.2-2 ピクトグラムの表記

- ・使用するピクトグラムは、標識令、標準案内用図記号のデザインを基本とし、コンビニや湯川地区のホテル・旅館は、オリジナルのピクトグラムで表記する。
- ・ピクトグラムが設定されていない施設で名称を表記する施設には、アイキャッチャー「 」を表記する。
- ・ピクトグラムは、地図上および右横の凡例部に表記するものとし、地図上に存在しない施設のピクトグラムは凡例部に表記しない。
- ・ピクトグラムの表示の大きさは、地図上に記載したときに他の情報と煩雑にならないように、視認性とバランスを考慮した大きさを選定する。
- ・ピクトグラムは、カテゴリ別に色分けし、敷地色との明度差を4以上確保する。（公共施設系 黒色，歴史文化系 紫色，交通系 マゼンタ，商業系 オレンジ，宿泊系 青緑色）




使用するピクトグラムは次のとおりとする。

	現在地 You are Here вы сейчас здесь	現在位置 現在位置 현재 위치	CMYK カラー 0-100-100-0 黒縁取り
	市電路線／市電電停 Tram Route/Tram Stop трамвай/трамвайная остановка	露面电车线路 / 露面电车站 露面電車線路 / 露面電車站 노면전차 노선 / 노면전차 정류장	CMYK カラー 0-100-100-0
	バス路線／停留所 Bus Route/Bus Stop автобусный маршрут/остановка	公共汽车线路 / 公共汽车站 公共汽車線路 / 公共汽車站 버스 노선 / 정류장	CMYK カラー 80-30-0-0
	国道番号 National Highway Route No. номер автомагистрали	国道号码 國道號碼 국도 번호	CMYK カラー 100-50-0-0
	案内所 Information справочное бюро	咨询处 諮訊処 안내소	CMYK カラー 100-50-0-0
※注)		トイレ Restroom туалет	CMYK カラー 100-50-0-0
			注)  車椅子での利用が可能なトイレは同色 で併記する
	避難地 Evacuation Site убежище	避难场所 避難場所 피난지	CMYK カラー 100-0-100-0
	公園 Park парк	公園 公園 공원	CMYK カラー 100-0-100-0
公共施設系			
	官公庁 Government and Municipal Offices правительственное и муниципальное учреждение	政府机关 政府機關 관공청	CMYK カラー 0-0-0-100
	警察署／交番 Police Station/Police Box управление полиции/полицейский участок	警察署 / 派出所 警察署 / 派出所 경찰서 / 파출소	CMYK カラー 0-0-0-100
	郵便局 Post Office почта	邮局 郵局 우체국	CMYK カラー 0-0-0-100
	銀行 Bank банк	银行 銀行 은행	CMYK カラー 0-0-0-100
	病院 Hospital больница	医院 醫院 병원	CMYK カラー 0-0-0-100
歴史文化系			
	歴史的建造物 Historic buildings историческое здание	古老建筑 古老建築 역사적 건축물	CMYK カラー 0-70-90-0
	博物館／美術館 Museum музей/художественный музей	博物館 / 美術館 博物館 / 美術館 박물관 / 미술관	CMYK カラー 0-70-90-0


交通系

	鉄道駅／市電電停 Railway Station/Tram Stop ж/д станция/трамвайная остановка	火车站 / 露天电车站 火車站 / 露天電車站 철도역 / 노면전차 정류장	CMYK カラー 0-100-0-0
	バスターミナル Bus Terminal автобусный терминал	公共汽车总站 公共汽車總站 버스 터미널	CMYK カラー 0-100-0-0
	タクシーのりば Taxi Stand остановка такси	出租车车站 出租車車站 택시 승강장	CMYK カラー 0-100-0-0
	ロープウェイ駅 Ropeway Station остановка канатной дороги	架空索道车站 纜車乘車處 로프웨이 역	CMYK カラー 0-100-0-0
	遊覧船のりば Boarding Quay for Pleasure Boat остановка экскурсионного корабля	游览船车站 遊覧船乘船處 유람선 승강장	CMYK カラー 0-100-0-0


商業系

	大規模商業施設 Shopping Center торговый центр	大規模商业设施 大規模商業設施 대규모 상업 시설	CMYK カラー 0-70-100-0
	コンビニエンスストア Convenience store круглосуточный магазин	便利店 便利店 편의점	CMYK カラー 0-70-100-0
	レストラン Restaurant ресторан	餐馆 餐館 레스토랑	CMYK カラー 0-70-100-0

宿泊系

	ホテル／宿泊施設 Hotel/Accommodation гостиница	宾馆 / 住宿 賓館 / 住宿 호텔 / 숙박시설	CMYK カラー 100-0-50-0
---	---	--	---------------------

(湯川地区の温泉旅館・ホテル)

	温泉旅館／ホテル Hot-Spring Inn/Hotel Гостиница в японском стиле с горячим источником	壺榕梳馆/宾馆 壺榕梳媼/媼媼 온천여관/호텔	CMYK カラー 100-0-50-0
---	--	--------------------------------------	---------------------

3.2.2-3 地図の色彩

地図の色彩は、国土交通省道路局企画課監修の「地図を用いた道路案内標識ガイドブック」で推奨している色彩を基本とする。

(使用する主要な色彩)

	森林・森	CMYK カラー	60-0-100-0、	枠線なし
	公園・緑地	CMYK カラー	40-0-100-0、	枠線なし
	園路など	CMYK カラー	0-0-30-10、	枠線なし
	砂浜	CMYK カラー	0-0-25-0、	枠線なし
	海・河川	CMYK カラー	50-10-0-0、	枠線なし
	敷地	CMYK カラー	10-20-40-0、	枠線 0-0-0-100
	名称表記一般施設	CMYK カラー	0-0-0-10、	枠線なし
	駅・競技場・歩道橋	CMYK カラー	0-0-0-10、	枠線 0-0-0-100
	路面電車軌道、現在位置表示	CMYK カラー	0-100-100-0	
	バス路線	CMYK カラー	80-30-0-0	
	ロープウェイ索条	CMYK カラー	0-80-100-0	

3.2.2-4 文字の大きさ、書体

文字の大きさは、視力の低下した高齢者等にも見やすい大きさを選択する。

また、文字の表記が煩雑となり視認性が悪くなる場合は、大きさを適宜、調整を行うこととする。

日本語表記は、視認性と判別性の良い「MS ゴシック」を採用し、英語及びロシア語表記には、日本語に比べ字数が多くなることから、横幅が狭く判読性の高い、「Arial Narrow」を採用する。また、簡体字と繁体字には「SimHei」、韓国語には、「Malgun Gothic」を採用する。

3.2.2-5 地図のデザイン

地図標識は、下図のデザインを基本とする。

(表面のデザイン)

(地図)

(凡例)



(地図標識の基本デザイン、表面)

(地図)

- ・地図は、基本的に1 / 1000の縮尺を原則とするが、現在位置と主要な施設との位置関係の関係などにより、表示エリアを拡大する方が、利便性を向上できると判断されるときは、適宜、縮尺を変更する。
- ・名称は、日本語および英語で地図上に表記する。
- ・地図の方位は、「現場合わせ式」を採用し、地図の下部に方位と距離のバースケールを表記する。
- ・現在位置は利用者の利便性を優先し、主要な施設、歩行者の導線を考慮して、地図のセンターとすることを要しない。

(凡例) 広域図

- ・凡例は、地図の右横に配置する。
- ・最上部に設置位置（現在地）を赤色で表示し、住所を併記する。
- ・現在位置表示の下に広域図を表記し、地図と標識本体と広域的な位置関係が把握できるようにする。広域図は、市内の主要施設と現在地との位置関係を把握できるような区域を選定する。
- ・凡例は、地図に存在するピクトグラムで表示する施設を表記し、ピクトグラムおよび多言語で表記する。
多言語は、日本語、英語、簡体字、繁体字、韓国語、ロシア語の5カ国6言語とする。

(地図標識の基本デザイン、裏面)

- ・標識の設置位置が歩道の車道側に設置される場合は、設置場所の向かい側からも標識の存在を認識できるように、地図の裏面に、「iマーク」、「設置されているエリアの名称」、「住所」、「道路名称」を次のデザインを基本に表記する。
- ・版のベース色は、支柱のデザイン色と整合させる。

(標識の裏面デザインのサンプル)

西部地区



下地 CMYK カラー 90-50-100-0
文字 CMYK カラー 0-0-0-0

五稜郭地区



下地 CMYK カラー 0-3-5-5
文字 CMYK カラー 70-90-100-15

湯川地区



下地 CMYK カラー 70-90-100-15
文字 CMYK カラー 0-0-0-0

3.2.2-5 誘導標識の表記情報

誘導標識は、歩行者導線上で、利用者を目的地に誘導する役割を果たすものであり、目的地となる主要な施設の名称、方向、距離を表記する。

なお、施設名称は、5カ国6言語で表記する。

表記情報のレイアウトは、下図のとおりとする。



最大4面を利用し、車道サイドには、設置されている住所を日本語・英語で表記する。

注1：距離表示のルール

2桁の場合、メートル表示、下1桁を四捨五入、(例) 93m 90m

3桁の場合、メートル表示、下1桁を四捨五入、(例) 258m 260m

4桁の場合、キロメートル表示、下2桁を四捨五入、(例) 1445m 1.4Km

4 案内標識の配置計画

4.1 配置計画の基本的な考え方

本計画において整備する案内標識の設置に係る基本的な考え方は次のとおりとする。

効率的な配置

- ・ 標識は、対象となる地区（西部・五稜郭・湯川）のそれぞれの歩行者の導線を考察し、地図および誘導標識を効率的に配置する。
- ・ 地図標識は、主要な交通拠点施設（駅、路面電車電停など）、交差点、施設などに主に配置するものとし、これらの施設を結ぶ歩行者導線上には、誘導標識を配置する。
- ・ 配置は、案内の連続性を確保する。

既存の案内標識との関係

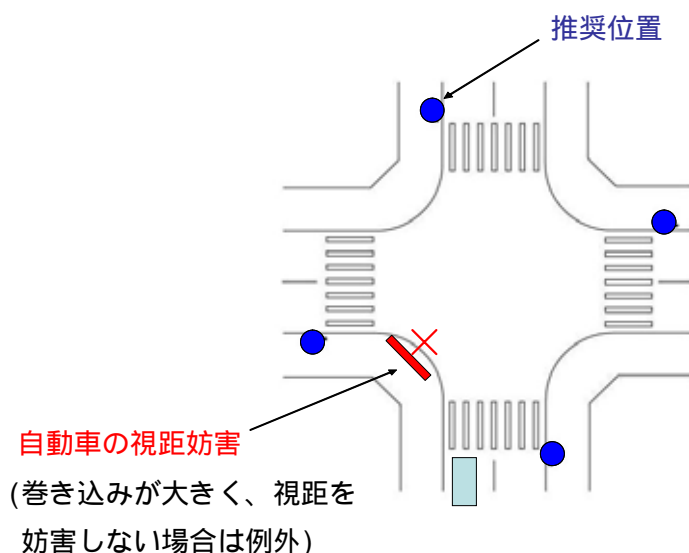
西部地区には、既存の歩行者用の案内標識が多くあるが（平成 20 年 7 月協議会において現況の状況を調査）、これらとの調整を図りながら、配置を検討する。

- ・ 案内標識の乱立の防止（既存標識との重複防止）
- ・ 配置すべき場所に、既存の老朽化した標識がある場合は、新設に合わせて撤去することを検討する。
- ・ 既存標識の支柱などが十分利用が可能な場合は、案内パネルの交換などのリニューアルについても検討する。

設置場所の選定

標識の設置場所は、次の事項に注意して設置する。

- ・ 歩行者の円滑な移動を妨げない箇所（標識の利用者が溜まれる位置）
- ・ 標識が自動車の視距を妨げない位置



4.2 観光エリア別の配置計画

4.2.1 西部地区の配置計画（地図標識・誘導標識）

案内標識の整備対象となる西部地区における交通拠点施設、主要な施設、歩行者導線の状況を整理し、地図標識・誘導標識の配置計画を定める。

4.2.1-1 西部地区の交通拠点施設

函館駅を含む西部地区における交通拠点となる主な施設は、次のとおりである。

交通拠点施設（西部地区）

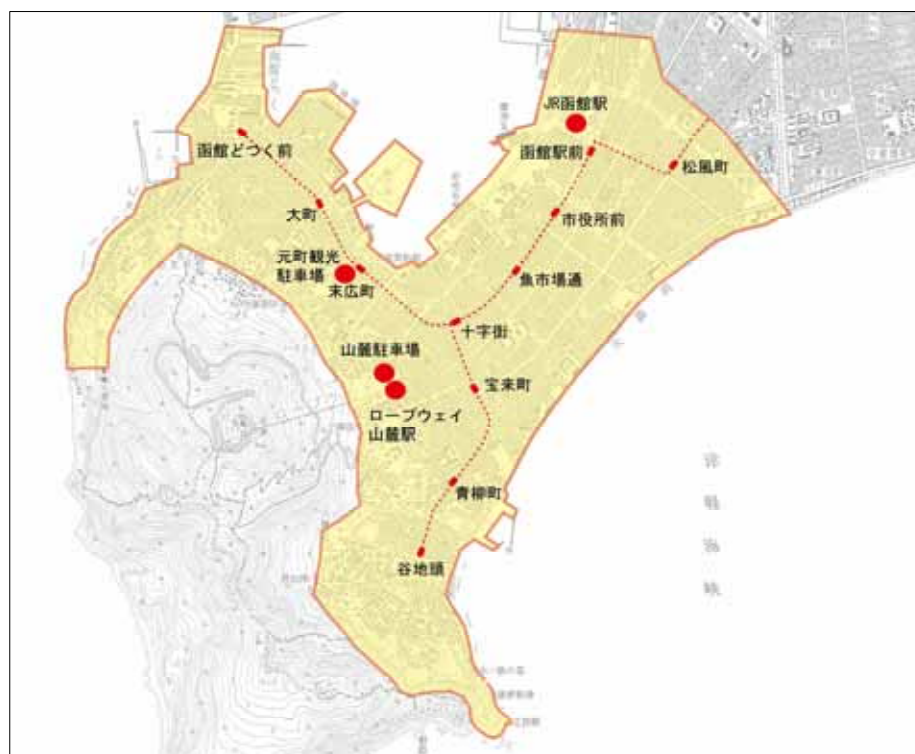
鉄道駅……JR 函館駅

路面電車停留所……松風町、函館駅前、市役所前、魚市場通、十字街、
未広町、大町、函館どつく前、宝来町、青柳町、谷地頭

駐車場……山麓駐車場、元町観光駐車場

ロープウェイ……ロープウェイ山麓駅

図 4.2.1-1-1 西部地区の交通拠点施設図



4.2.1-2 西部地区の主要な施設等

西部地区の主な施設は、下図のとおりとなっている。

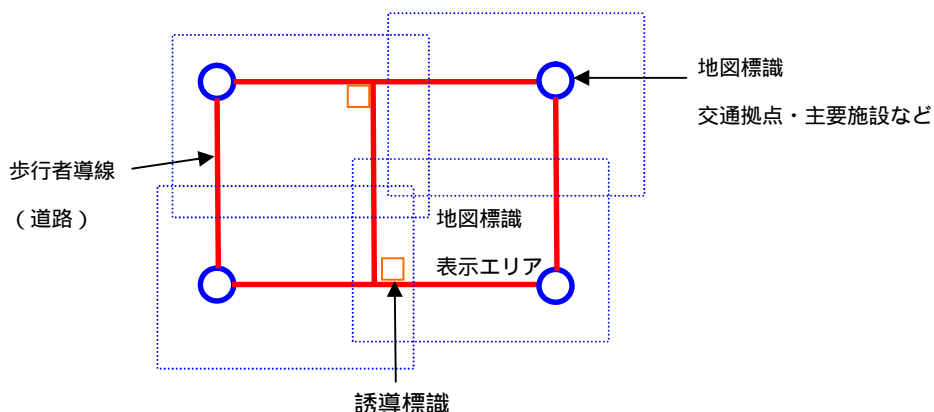
4.2.1-4 西部地区の標識の配置計画の考え方

標識の配置は、地図標識を交通拠点や主要施設に配置し、それらを結ぶ歩行者導線上に誘導標識を配置し、ネットワークを構成する。

誘導標識は、導線が分岐する交差点には、角柱式の交差点設置タイプ、導線上で施設間の距離が比較的長くなる場合には、並行設置タイプを設置する。

地図標識の表示エリアは、案内の連続性を確保し、空白地帯を生じないように、隣接する地図標識の配置位置を留意して定める。

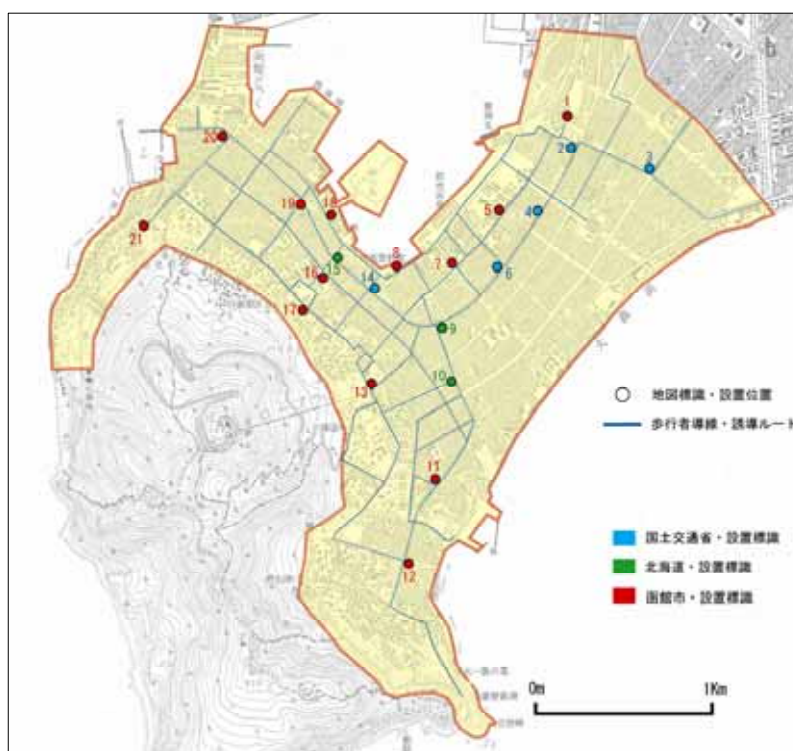
(標識の配置イメージ)



4.2.1-5 西部地区の地図標識の配置

地図標識は、交通拠点、施設、歩行者導線、配置バランスを考慮して、下図のとおり配置する。

図 4.2.1-5-1 地図標識の配置箇所図 (西部地区)



地図標識の設置位置などの詳細については、資料編に地図標識・計画調書を添付する。

また、それぞれの地図標識の設置場所、管理者などの概要は下表のとおりである。

表 4.2.1-5-1 西部地区に設置する地図標識の概要

番号	設置路線名	都市計画 街路名	拠点名	案内標識名				夜間 照明	支柱 カラー	地図の 表示距離 (km)	管理者	設置年度
				歩道側		車道側						
				名 称	誘導 距離	名 称	誘導 距離					
1	駅前広場	—	JR函館駅	函館朝市	160m	函館朝市	160m	○	白色 C27-80B	1.05 × 1	函館市	平成21年度
				赤レンガ倉庫群	1.3km	赤レンガ倉庫群	1.3km					
2	一般国道279号	放射1号線	函館駅前電停 駅前交差点	—	—	—	—	×	白色 C27-80B	1.05 × 1	国土交通省	平成20年度
3	一般国道278号	放射3号線	松風町電停 松風町交差点	大森公園	550m	JR函館駅	560m	×	白色 C27-80B	1.313 × 1.25	国土交通省	平成21年度
4	一般国道279号	放射1号線	市役所前電停	函館市役所	320m	JR函館駅	600m	×	白色 C27-80B	1.313 × 1.25	国土交通省	平成23年度
				JR函館駅	600m	赤レンガ倉庫群	1.1km					
5	中臨港通	中臨港通	国際ホテル前	JR函館駅	570m	JR函館駅	570m	×	緑色 C42-30H	1.47 × 1.4	函館市	平成21年度
				赤レンガ倉庫群	720m	赤レンガ倉庫群	720m					
6	一般国道279号	放射1号線	魚市場通電停	JR函館駅	970m	函館市水産物地方卸売市場	470m	×	緑色 C42-30H	1.47 × 1.4	国土交通省	平成22年度
				函館山ロープウェイ山麓駅	1.0km	JR函館駅	970m					
7	二十間坂通	二十間坂通	明治館前 赤レンガ倉庫群	函館山ロープウェイ山麓駅	840m	函館山ロープウェイ山麓駅	840m	×	緑色 C42-30H	1.313 × 1.25	函館市	平成21年度
				JR函館駅	1.0km	JR函館駅	1.0km					
8	市道末広1号線	—	赤レンガ倉庫群	元町公園・旧函館区公会堂	710m	元町教会群	670m	○	緑色 C42-30H	1.05 × 1	函館市	平成21年度
				JR函館駅	1.3km	JR函館駅	1.3km					
9	道道立待岬 函館停車場線	西部環状通	十字街電停 十字街交差点	赤レンガ倉庫群	400m	赤レンガ倉庫群	400m	×	緑色 C42-30H	1.05 × 1	北海道	平成20年度
				函館山ロープウェイ山麓駅	530m	立待岬	2.4km					
10	道道立待岬 函館停車場線	西部環状通	宝来町電停 高田屋嘉兵衛像	赤レンガ倉庫群	720m	赤レンガ倉庫群	720m	×	緑色 C42-30H	1.05 × 1	北海道	平成21年度
				立待岬	2.0km	立待岬	2.0km					
11	西部環状通	西部環状通	青柳町電停 函館公園	赤レンガ倉庫群	1.3km	函館公園	150m	×	緑色 C42-30H	—	函館市	平成24年度
				立待岬	1.4km	赤レンガ倉庫群	1.3km					
12	西部環状通	西部環状通	谷地頭電停	—	—	—	—	×	緑色 C42-30H	1.05 × 1	函館市	平成22年度
13	日暮し通	日暮し通	山麓駐車場 R-フレイ山麓駅	元町教会群	250m	—	—	○	緑色 C42-30H	—	函館市	平成23年度
				函館公園	450m							
14	一般国道279号	八幡坂通	八幡坂 R279交差点	赤レンガ倉庫群	190m	赤レンガ倉庫群	190m	×	緑色 C42-30H	1.05 × 1	国土交通省	平成21年度
				元町教会群	440m	元町教会群	440m					
15	道道函館漁港線	西部環状通	末広町電停 元町観光駐車場(立体)	—	—	—	—	×	緑色 C42-30H	1.209 × 1.15	北海道	平成22年度
16	基坂通	基坂通	元町観光駐車場 旧イギリス領事館	—	—	—	—	×	緑色 C42-30H	—	函館市	平成24年度
17	寺町二十間坂線	港が丘通	元町公園 旧函館区公会堂	—	—	—	—	○	緑色 C42-30H	1.174 × 1.7	函館市	平成21年度
18	西部臨港通	西部臨港通	緑の島	赤レンガ倉庫群	580m	赤レンガ倉庫群	580m	×	緑色 C42-30H	1.155 × 1.1	函館市	平成21年度
				西埠頭	780m	西埠頭	780m					
19	弥生坂通	弥生坂通	大町電停	元町公園・旧函館区公会堂	560m	元町公園・旧函館区公会堂	560m	×	緑色 C42-30H	1.155 × 1.1	函館市	平成22年度
				西埠頭	720m	西埠頭	720m					
20	寺町通	寺町通	函館どつく前電停	函館漁港	280m	函館漁港	280m	×	緑色 C42-30H	1.155 × 1.1	函館市	平成21年度
				外国人墓地	760m	外国人墓地	760m					
21	寺町通	寺町通	高龍寺 外国人墓地	外国人墓地	80m	旧函館検疫所台町措置場跡	380m	×	緑色 C42-30H	—	函館市	平成23年度
				市電函館どつく前電停	700m	市電函館どつく前電停	700m					

注1) 方位の表記は、全標識共に『現場合わせ式』とする。

注2) 夜間照明は、『ソーラーLED照明』とする。(ST17のみ『LED照明』とする。)

管理者別設置基数： 国土交通省 5基
北海道 3基
函館市 13基

4.2.1-6 西部地区の誘導標識の配置

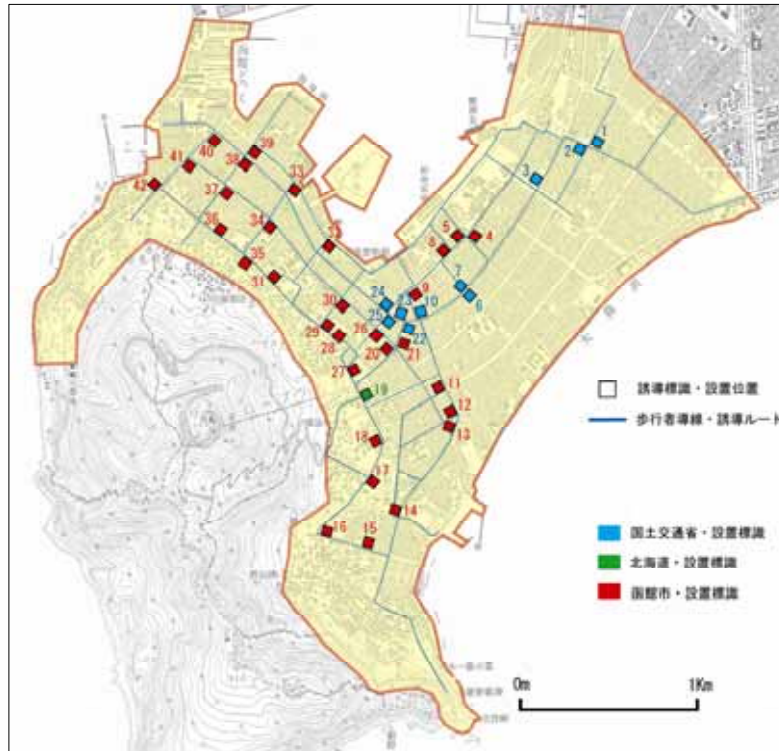
誘導標識は、地図標識の配置をベースに歩行者導線を考慮し、分岐する交差点などに配置する。

既存の誘導標識が存する箇所については、乱立を防止することから、案内内容や老朽度などを考察して、新設撤去を行うか、また本計画での新設は行わず、既存の案内標識で対応するものが判断する。

案内する施設については、既存の歩行者用案内標識は比較的詳細の著名地点・施設を誘導している傾向にあったが、詳細な著名地点の案内は、地図標識にその役割を担わせることとし、本計画で整備する誘導標識は主に核となる施設などを案内するものとする。

配置位置は下図のとおりである。

図 4.2.1-6-1 誘導標識の配置箇所図(西部地区)



誘導標識の設置位置などの詳細については、資料編に誘導標識・計画調書を添付する。

また、それぞれの誘導標識の設置場所、管理者などの概要は下表のとおりである。

表 4.2.1-6-1 西部地区に設置する誘導標識の概要

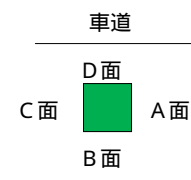
番号	設置路線名 街路名称	都市計画 街路名称	誘導施設等の名称						支柱 カラー	設置者	設置年度
			名称(A面)	誘導 距離	名称(B面)	誘導 距離	名称(C面)	誘導 距離			
1	一般国道278号	放射3号線	はこだてグリーンプラザ	150m	函館市役所	450m	はこだてグリーンプラザ	150m	白色 C27-80B	国土交通省	平成21年度
			JR函館駅	310m	函館市総合福祉センター	700m	JR函館駅	310m			
2	一般国道278号	放射3号線	函館市役所	440m	はこだてグリーンプラザ	160m	函館市役所	440m	白色 C27-80B	国土交通省	平成21年度
			函館市総合福祉センター	710m	JR函館駅	320m	函館市総合福祉センター	710m			
3	一般国道279号	放射1号線	函館市役所	240m	JR函館駅	460m	函館市役所	240m	白色 C27-80B	国土交通省	平成23年度
			ベイエリア	340m	函館山ローウェイ山麓駅	1.5km	ベイエリア	340m			
4	中臨港通	中臨港通	市電魚市場通電停	190m	赤レンガ倉庫群	570m	市電魚市場通電停	190m	緑色 C42-30H	函館市	平成23年度
			函館市水産物地方卸売市場	320m	元町教会群	1.0km	函館市水産物地方卸売市場	320m			
5	中臨港通	中臨港通	市電魚市場通電停	190m	赤レンガ倉庫群	540m	市電魚市場通電停	190m	緑色 C42-30H	函館市	平成23年度
			函館市水産物地方卸売市場	290m	元町教会群	990m	函館市水産物地方卸売市場	290m			
6	一般国道279号	放射1号線	函館市水産物地方卸売市場	490m	函館山ローウェイ山麓駅	820m	函館市水産物地方卸売市場	490m	緑色 C42-30H	国土交通省	平成22年度
			赤レンガ倉庫群	570m	元町公園・旧函館区公会堂	1.5km	赤レンガ倉庫群	570m			
7	一般国道279号	放射1号線	函館市水産物地方卸売市場	460m	函館山ローウェイ山麓駅	830m	函館市水産物地方卸売市場	460m	緑色 C42-30H	国土交通省	平成22年度
			赤レンガ倉庫群	540m	元町公園・旧函館区公会堂	1.2km	赤レンガ倉庫群	540m			
8	二十間坂通	二十間坂通	元町教会群	780m	函館市水産物地方卸売市場	240m	元町教会群	780m	緑色 C42-30H	函館市	平成23年度
			函館山ローウェイ山麓駅	910m			函館山ローウェイ山麓駅	910m			
9	二十間坂通	二十間坂通	JR函館駅	950m			JR函館駅	950m	緑色 C42-30H	函館市	平成22年度
			元町教会群	610m	市電十字街電停	150m	元町教会群	610m			
10	一般国道279号	放射1号線	函館山ローウェイ山麓駅	730m	赤レンガ倉庫群	200m	函館山ローウェイ山麓駅	730m	緑色 C42-30H	函館市	平成22年度
			JR函館駅	1.2km			JR函館駅	1.2km			
11	西部環状通	西部環状通	赤レンガ倉庫群	380m	函館山ローウェイ山麓駅	580m	赤レンガ倉庫群	380m	緑色 C42-30H	国土交通省	平成22年度
			函館公園	1.2km	元町教会群	600m	函館公園	1.2km			
12	西部環状通	西部環状通	立待峠	2.3km	JR函館駅	1.4km	立待峠	2.3km	緑色 C42-30H	函館市	平成23年度
			函館公園	550m	赤レンガ倉庫群	790m	函館公園	550m			
12	西部環状通	西部環状通	函館市役所	1.4km	立待峠	1.9km	函館市役所	1.4km	緑色 C42-30H	函館市	平成24年度
			函館公園	470m	赤レンガ倉庫群	940m	函館公園	470m			
12	西部環状通	西部環状通	立待峠	1.8km			立待峠	1.8km	緑色 C42-30H	函館市	平成24年度

番号	設置路線名	都市計画 街路名称	誘導施設等の名称						支柱 カラー	設置者	設置年度		
			名称(A面)	誘導 距離	名称(B面)	誘導 距離	名称(C面)	誘導 距離				名称(D面)	誘導 距離
13	西部環状通	西部環状通	函館山ロープウェイ山麓駅 元町公園・旧函館区公会堂	780m 1.3km	赤レンガ倉庫群 立待岬	1.1km 1.7km	函館山ロープウェイ山麓駅 元町公園・旧函館区公会堂	780m 1.3km		緑色 C42-30H	函館市	平成24年度	
14	西部環状通	西部環状通	函館公園 住吉漁港	80m 280m	市電青柳町電停 函館八幡宮 立待岬	220m 610m 1.2km	函館公園 住吉漁港	80m 280m		緑色 C42-30H	函館市	平成24年度	
15	表参道	表参道	市電谷地頭電停 立待岬 函館八幡宮	150m 1.1km 260m	谷地頭温泉 函館公園	130m 190m	市電谷地頭電停 立待岬 函館八幡宮	150m 1.1km 260m	130m 190m	緑色 C42-30H	函館市	平成22年度	
16	表参道	表参道	函館公園	250m	市電谷地頭電停 立待岬	400m 1.3km	函館公園	250m		緑色 C42-30H	函館市	平成24年度	
17	日暮し通	日暮し通	函館山登山口	380m	函館八幡宮 函館山ロープウェイ山麓駅	420m 540m	函館山登山口	380m		緑色 C42-30H	函館市	平成24年度	
18	日暮し通	日暮し通	函館公園 函館八幡宮	100m 620m	函館山ロープウェイ山麓駅 元町教会群	340m 600m	函館公園 函館八幡宮	100m 620m		緑色 C42-30H	函館市	平成24年度	
19	道道立待岬 函館停車場線	日暮し通	函館山登山口 函館公園	290m 380m	元町公園・旧函館区公会堂 函館八幡宮	680m 900m	函館山登山口 元町教会群	290m 330m		緑色 C42-30H	北海道	平成21年度	
20	末広栄町通	山手通	元町公園・旧函館区公会堂	760m	赤レンガ倉庫群 函館山登山口	600m 670m	函館山ロープウェイ山麓駅 元町公園・旧函館区公会堂	320m 760m		緑色 C42-30H	函館市	平成21年度	
21	末広栄町通	山手通	函館山ロープウェイ山麓駅 元町公園・旧函館区公会堂	320m 770m	赤レンガ倉庫群 函館山登山口	610m 670m	元町公園・旧函館区公会堂	770m		緑色 C42-30H	函館市	平成21年度	
22	一般国道279号	西部環状通	函館山ロープウェイ山麓駅 函館山登山口	450m 800m	赤レンガ倉庫群 元町公園・旧函館区公会堂 JH函館駅	480m 820m 1.6km	函館山ロープウェイ山麓駅 函館山登山口	450m 800m		緑色 C42-30H	国土交通省	平成21年度	
23	一般国道279号	西部環状通	函館山ロープウェイ山麓駅 函館山登山口	470m 830m	赤レンガ倉庫群 元町公園・旧函館区公会堂 JH函館駅	440m 800m 1.5km	函館山ロープウェイ山麓駅 函館山登山口	470m 830m		緑色 C42-30H	国土交通省	平成21年度	
24	一般国道279号	西部環状通	元町公園・旧函館区公会堂	700m	赤レンガ倉庫群 元町教会群 函館山ロープウェイ山麓駅	340m 400m 520m	元町公園・旧函館区公会堂	700m	赤レンガ倉庫群 元町教会群 函館山ロープウェイ山麓駅	340m 400m 520m	緑色 C42-30H	国土交通省	平成21年度
25	一般国道279号	西部環状通	赤レンガ倉庫群 元町教会群 函館山ロープウェイ山麓駅	390m 400m 470m	元町公園・旧函館区公会堂	710m	赤レンガ倉庫群 元町教会群 函館山ロープウェイ山麓駅	390m 400m 470m		緑色 C42-30H	国土交通省	平成21年度	
26	二十間坂通	二十間坂通	元町教会群 函館山ロープウェイ山麓駅 赤レンガ倉庫群	300m 370m 460m	元町公園・旧函館区公会堂	620m	元町教会群 函館山ロープウェイ山麓駅 赤レンガ倉庫群	300m 370m 460m		緑色 C42-30H	函館市	平成22年度	
27	日暮し通	日暮し通	赤レンガ倉庫群	730m	元町教会群 元町公園・旧函館区公会堂 函館公園	170m 520m 540m	赤レンガ倉庫群	730m		緑色 C42-30H	函館市	平成23年度	
28	寺町二十間坂線	港が丘通	函館山ロープウェイ山麓駅 元町公園・旧函館区公会堂	290m 340m	赤レンガ倉庫群	640m	函館山ロープウェイ山麓駅 元町公園・旧函館区公会堂	290m 340m		緑色 C42-30H	函館市	平成23年度	
29	寺町二十間坂線	港が丘通	元町教会群 函館山ロープウェイ山麓駅 元町公園・旧函館区公会堂	140m 430m 210m	赤レンガ倉庫群	500m	元町教会群 函館山ロープウェイ山麓駅 元町公園・旧函館区公会堂	140m 430m 210m		緑色 C42-30H	函館市	平成22年度	
30	八幡坂通	八幡坂通	元町公園・旧函館区公会堂 函館山ロープウェイ山麓駅	370m 620m	赤レンガ倉庫群 元町教会群	320m 320m	元町公園・旧函館区公会堂 函館山ロープウェイ山麓駅	370m 620m		緑色 C42-30H	函館市	平成21年度	
31	市道元町5号線	港が丘通	元町教会群 函館山ロープウェイ山麓駅	480m 770m	赤レンガ倉庫群	840m	元町教会群 函館山ロープウェイ山麓駅	480m 770m		緑色 C42-30H	函館市	平成22年度	
32	西部臨港通	西部臨港通	元町公園・旧函館区公会堂	320m	赤レンガ倉庫群 緑の島	390m 380m	元町公園・旧函館区公会堂	320m		緑色 C42-30H	函館市	平成22年度	
33	弥生坂通	弥生坂通	緑の島 赤レンガ倉庫群 函館どつく	310m 750m 890m	元町公園・旧函館区公会堂	610m	緑の島 赤レンガ倉庫群 函館どつく	310m 750m 890m		緑色 C42-30H	函館市	平成22年度	
34	弥生坂通	弥生坂通	元町公園・旧函館区公会堂 函館山ロープウェイ山麓駅 外国人墓地	420m 1.2km 1.1km	緑の島 西埠頭	540m 870m	元町公園・旧函館区公会堂 函館山ロープウェイ山麓駅 外国人墓地	420m 1.2km 1.1km		緑色 C42-30H	函館市	平成22年度	
35	弥生坂通	弥生坂通	元町公園・旧函館区公会堂 函館山ロープウェイ山麓駅 外国人墓地 外国人墓塚	250m 1.0km 940m	緑の島 西埠頭	790m 1.1km	元町公園・旧函館区公会堂 函館山ロープウェイ山麓駅 外国人墓地 外国人墓塚	250m 1.0km 940m	770m 1.1km	緑色 C42-30H	函館市	平成22年度	
36	市道弁天16号線	—	元町公園・旧函館区公会堂 函館山ロープウェイ山麓駅 外国人墓地	450m 1.2km 740m	緑の島 西埠頭	980m 900m	元町公園・旧函館区公会堂 函館山ロープウェイ山麓駅 外国人墓地	450m 1.2km 740m		緑色 C42-30H	函館市	平成24年度	
37	幸坂通	幸坂通	元町公園・旧函館区公会堂 函館山ロープウェイ山麓駅 外国人墓地	750m 1.5km 810m	旧ロシア領事館 西埠頭	400m 590m	元町公園・旧函館区公会堂 函館山ロープウェイ山麓駅 外国人墓地	750m 1.5km 810m		緑色 C42-30H	函館市	平成24年度	
38	幸坂通	幸坂通	外国人墓地 函館山ロープウェイ山麓駅	990m 1.6km	西埠頭 旧ロシア領事館	410m 590m	市電函館どつく前電停 元町公園・旧函館区公会堂	240m 840m		緑色 C42-30H	函館市	平成24年度	
39	西部臨港通	西部臨港通	西埠頭 市電函館どつく前電停 外国人墓地	320m 310m 1.1km	緑の島 赤レンガ倉庫群	620m 1.1km	西埠頭 市電函館どつく前電停 外国人墓地	320m 310m 1.1km		緑色 C42-30H	函館市	平成24年度	
40	寺町通	寺町通	函館漁港 元町公園・旧函館区公会堂	300m 1.1km	外国人墓地	780m	函館漁港 元町公園・旧函館区公会堂	300m 1.1km		緑色 C42-30H	函館市	平成22年度	
41	寺町通	寺町通	元町公園・旧函館区公会堂 函館山ロープウェイ山麓駅 外国人墓地	980m 1.8km	市電函館どつく前電停 外国人墓地	230m 580m	元町公園・旧函館区公会堂 函館山ロープウェイ山麓駅 外国人墓地	980m 1.8km		緑色 C42-30H	函館市	平成24年度	
42	寺町通	寺町通	元町公園・旧函館区公会堂 函館山ロープウェイ山麓駅	860m 1.6km	外国人墓地 市電函館どつく前電停	330m 440m	元町公園・旧函館区公会堂 函館山ロープウェイ山麓駅	860m 1.6km		緑色 C42-30H	函館市	平成23年度	

注) 名称(D面)に誘導施設がない場合は、『住所』を記載する。

管理者別設置基数： 国土交通省 10基
北海道 1基
函館市 31基

注) 表示面は、車道面をD面とし時計回りにそれぞれをA・B・C面とする。



4.2.2 五稜郭地区の配置計画（地図標識・誘導標識）

案内標識の整備対象となる五稜郭地区における交通拠点施設、主要な施設、歩行者導線の状況を整理し、地図標識・誘導標識の配置計画を定める。

4.2.2-1 五稜郭地区の交通拠点施設

五稜郭地区の交通拠点となる施設は、主に路面電車の停留所である。

バスの停留所は、路線に応じて多数分散して存在しており、ターミナルなどの施設は存しない。

大規模な駐車場は、五稜郭観光駐車場と道立美術館前の駐車場が存在する。

交通拠点施設（五稜郭地区）

路面電車停留所……千代台公園前、中央病院前、五稜郭公園前、
杉並町、柏木町

駐車場……五稜郭観光駐車場、道立美術館前駐車場

図 4.2.2-1-1 五稜郭地区の交通拠点施設図



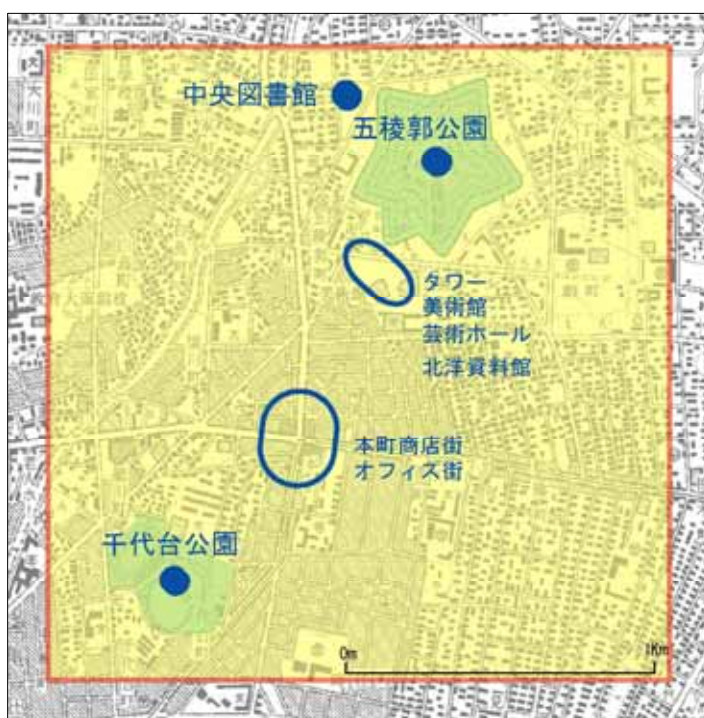
4.2.2-2 主要な施設等

五稜郭地区は、五稜郭公園および隣接する観光施設等（タワー、美術館）を核として構成されている。五稜郭公園の北側には、公園に隣接し、函館中央図書館が存する。

また市電・五稜郭公園前の停留所の交差点を中心に商店街が形成され、銀行、オフィスなどが存在する。

対象エリアの南部には、市民の憩いの場、スポーツの拠点となる千代台公園がある。

図 4.2.2-2-1 五稜郭地区の主要施設の分布図



4.2.2-3 歩行者導線と主要交差点（分岐点）

五稜郭地区は、西部地区と異なり比較的エリアが小さく、歩行者の導線となる幹線道路ははっきりしている。

五稜郭地区の観光客が主に歩行する幹線道路および主要な交差点は下図のとおりである。

図 4.2.2-3-1 五稜郭地区の歩行者導線と主要交差点図



4.2.2-4 五稜郭地区の標識の配置計画の考え方

標識の配置は、西部地区と同様に地図標識を交通拠点や主要施設に配置し、それらを結ぶ歩行者導線上に誘導標識を配置する。

標識の仕様等については、西部地区と同様とする。

4.2.2-5 五稜郭地区の地図標識の配置

地図標識は、交通拠点、施設、歩行者導線の主要交差点に、下図のとおり配置する。

図 4.2.2-5-1 地図標識の配置箇所図



地図標識の設置位置などの詳細については、資料編に地図標識・計画調書を添付する。

また、それぞれの地図標識の設置場所、管理者などの概要は下表のとおりである。

表 4.2.2-5-1 五稜郭地区に設置する地図標識の概要

番号	設置路線名	都市計画街路名	拠点名	案内拠点名				夜間照明	支柱カラー	地図の表示距離(km)	管理者	設置年度
				歩道側		車道側						
				名称	誘導距離	名称	誘導距離					
1	道道函館南茅部線	放射2号線	千代台公園 千代台電停	五稜郭公園	1.4km	五稜郭公園	1.4km	×	白色 C27-80B	1.575 × 1.5	北海道	平成22年度
				JR函館駅	2.5km	JR函館駅	2.5km					
2	道道函館南茅部線	放射2号線	本町交差点 本町電停	湯川	3.1km	五稜郭公園	780m	×	白色 C27-80B	1.575 × 1.5	北海道	平成22年度
				五稜郭公園	780m	千代台公園	610m					
3	道道函館南茅部線	中環状線	本町交差点 本町電停	千代台公園	700m	湯川	3.1km	×	白色 C27-80B	1.575 × 1.5	北海道	平成21年度
				湯川	3.1km	五稜郭公園	730m					
4	道道五稜郭公園線	放射2号線	道新交差点	五稜郭公園	390m	千代台公園	1.1km	×	白色 C27-80B	1.575 × 1.5	北海道	平成21年度
				市電五稜郭公園前電停	360m	五稜郭公園	390m					
5	ときわ通	ときわ通	五稜郭公園 タワ一前交差点	-	-	-	-	×	白色 C27-80B	1.575 × 1.5	函館市	平成22年度
6	東山墓園通	東山墓園通	函館市中央図書館	市電五稜郭公園前電停	1.0km	東山墓園	2.7km	×	白色 C27-80B	1.575 × 1.5	函館市	平成23年度
				五稜郭公園裏門	270m	千代台公園	1.8km					

注1) 方位の表記は、全標識共に『現場合わせ式』とする。

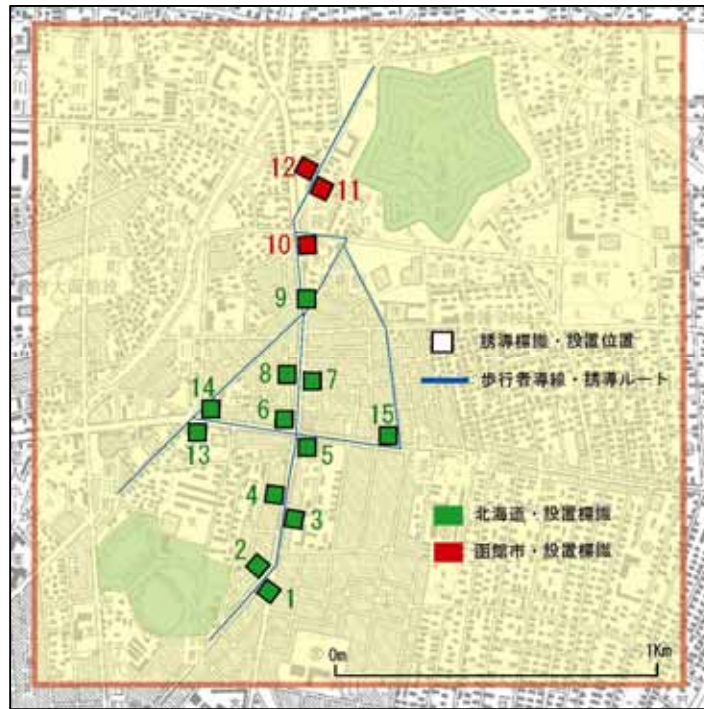
管理者別設置基数：北海道 4基
函館市 2基

4.2.2-6 五稜郭地区の誘導標識の配置

誘導標識は、地図標識の配置をベースに歩行者導線を考慮し、地図標識の中間地点、分岐交差点に配置する。

配置位置は下図のとおりである。

図 4.2.2-6-1 誘導標識の配置箇所図



誘導標識の設置位置などの詳細については、資料編に誘導標識・計画調書を添付する。

また、それぞれの誘導標識の設置場所、管理者などの概要は下表のとおりである。

表 4.2.2-6-1 五稜郭地区に設置する誘導標識の概要

番号	設置路線名	都市計画 街路名称	誘導施設等の名称								支柱 カラー	設置者	設置年度
			名称(A面)	誘導 距離	名称(B面)	誘導 距離	名称(C面)	誘導 距離	名称(D面)	誘導 距離			
1	道道函館南茅部線	放射2号線	千代台公園	250m	五稜郭公園	1.2km	五稜郭公園	1.2km			白色 C27-80B	北海道	平成23年度
			JR函館駅	2.8km	千代台公園	250m	市電五稜郭公園前電停	460m					
2	道道函館南茅部線	放射2号線	函館中央病院	100m	五稜郭公園	1.2km	千代台公園	250m			白色 C27-80B	北海道	平成23年度
			五稜郭公園	1.2km	千代台公園	250m	JR函館駅	2.8km					
3	道道函館南茅部線	放射2号線	千代台公園	470m	五稜郭公園	1.0km	五稜郭公園	1.0km			白色 C27-80B	北海道	平成23年度
			函館中央病院	100m	千代台公園	470m	市電五稜郭公園前電停	240m					
4	道道函館南茅部線	放射2号線	五稜郭公園	980m	五稜郭公園	980m	千代台公園	430m			白色 C27-80B	北海道	平成23年度
			市電五稜郭公園前電停	230m	千代台公園	430m	函館中央病院	130m					
5	道道函館南茅部線	放射2号線			千代台公園	680m	JRA函館競馬場	2.1km			白色 C27-80B	北海道	平成21年度
					五稜郭公園	800m	五稜郭公園	800m					
6	道道函館南茅部線	中環状線	JRA函館競馬場	2.2km	五稜郭公園	720m	千代台公園	740m			白色 C27-80B	北海道	平成21年度
			五稜郭公園	720m	千代台公園	740m	湯川	3.1km					
7	道道五稜郭公園線	放射2号線	市電五稜郭公園前電停	170m	五稜郭公園	580m	五稜郭公園	580m			白色 C27-80B	北海道	平成23年度
			千代台公園	880m	市電五稜郭公園前電停	170m	道立函館美術館	490m					
8	道道五稜郭公園線	放射2号線	五稜郭公園	570m	五稜郭公園	570m	市電五稜郭公園前電停	210m			白色 C27-80B	北海道	平成23年度
			道立函館美術館	480m	市電五稜郭公園前電停	210m	千代台公園	850m					
9	道道五稜郭公園線	公園通	市電五稜郭公園前電停	390m	五稜郭公園	370m	市電五稜郭公園前電停	390m			白色 C27-80B	北海道	平成22年度
			千代台公園	1.1km	道立函館美術館	290m	千代台公園	1.1km					
10	放射2-2号線	放射2号線	市電五稜郭公園前電停	600m	市電五稜郭公園前電停	600m	五稜郭公園	280m			白色 C27-80B	函館市	平成22年度
			千代台公園	1.3km	函館市中央図書館	500m	道立函館美術館	230m					
11	東山墓園通	東山墓園通	梁川公園	200m	梁川公園	200m	梁川公園	200m			白色 C27-80B	函館市	平成24年度
			五稜郭公園	150m	市電五稜郭公園前電停	760m	五稜郭公園	150m					
12	東山墓園通	東山墓園通	市電五稜郭公園前電停	760m	千代台公園	760m	函館市中央図書館	330m			白色 C27-80B	函館市	平成24年度
			函館市中央図書館	260m	函館市中央図書館	330m							
13	道道五稜郭公園線	中環状線	市電五稜郭公園前電停	830m	五稜郭公園	220m					白色 C27-80B	北海道	平成22年度
			千代台公園	1.5km	市電五稜郭公園前電停	830m							
14	道道五稜郭公園線	中環状線	五稜郭公園	870m	五稜郭公園	870m					白色 C27-80B	北海道	平成22年度
			千代台公園	650m	国道5号	1.3km	千代台公園	650m					
15	道道函館南茅部線	中環状線	市電五稜郭公園前電停	350m	五稜郭公園	850m					白色 C27-80B	北海道	平成22年度
			五稜郭公園	780m	湯川	2.7km	五稜郭公園	780m					
			函館五稜郭病院	460m	JRA函館競馬場	1.8km	函館五稜郭病院	460m					
					市電五稜郭公園前電停	280m							

注) 名称(D面)に誘導施設がない場合は、『住所』を記載する。

管理者別設置基数: 北海道 12基
函館市 3基

4.2.3 湯川地区の配置計画（地図標識・誘導標識）

案内標識の整備対象となる湯川地区における交通拠点施設、主要な施設、歩行者導線の状況を整理し、地図標識・誘導標識の配置計画を定める。

4.2.3-1 湯川地区の交通拠点施設

湯川地区の交通拠点となる施設は、主に路面電車の停留所である。バスの停留所は、地区内に循環バスの停留所が多くあるが、特にバスターミナルなどの施設は存しない。

また路面電車の終点駅の「湯の川」付近の湯倉神社交差点は、市電からバスに乗り換えるための公共交通の要衝となっている。

大規模な駐車場は、市民会館と市民体育館に併設されている駐車場である。

交通拠点施設（湯川地区）

路面電車停留所……駒場車庫前、市民会館前、湯の川温泉前、湯の川
駐車場……市民会館・市民体育館駐車場

図 4.2.3-1-1 湯川地区の交通拠点施設図



4.2.3-2 主要な施設等

湯川地区は、古くから全道有数の温泉地として発展した地域である。

地区内には、多くの温泉旅館・ホテルがあり、全国はもとより海外からも多くの観光客が訪れている。

道道函館南茅部線の沿線は、湯倉神社交差点から市民会館前までの区間、商店街が形成されている。

対象エリアの北部には、市民会館、市民体育館があり、市の文教施設の拠点となっている。

また、地区の西部には JRA 函館競馬場があり、東部には、野球・ラグビーなどの競技場を含む運動公園・根崎公園がある。

図 4.2.3-2-1 湯川地区の主要施設の分布図



4.2.3-3 歩行者導線と主要交差点（分岐点）

湯川地区は、五稜郭地区と同様に西部地区より比較的エリアが小さく、歩行者の導線となる道路は明確である。

このうち、主に観光客が歩行する道路は下図のとおりとなっている。

図 4.2.3-3-1 湯川地区の歩行者導線と主要交差点図



4.2.3-4 湯川地区の標識の配置計画の考え方

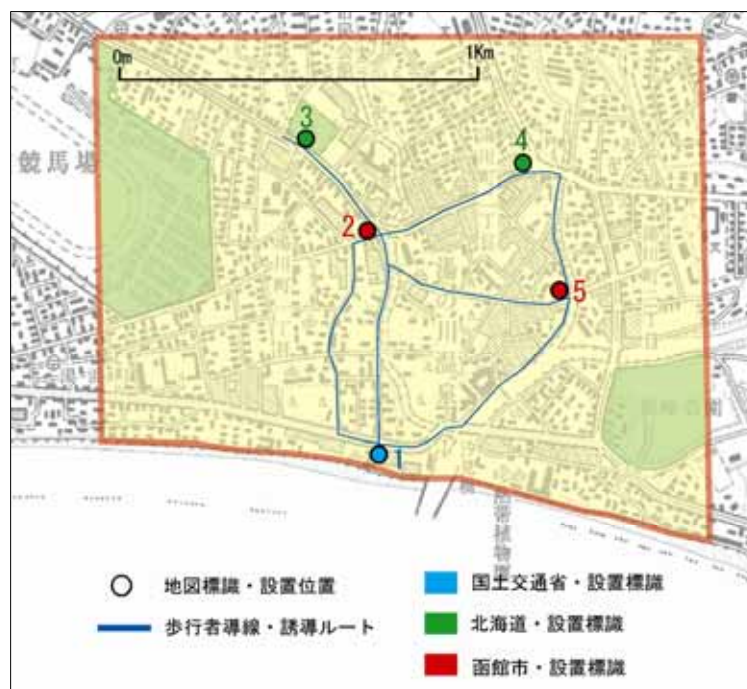
標識の配置は、地図標識を交通拠点や主要施設に配置し、それらを結ぶ歩行者導線上に誘導標識を配置する。

標識の仕様等については、西部地区と同様とする。

4.2.3-5 湯川地区の地図標識の配置

地図標識は、交通拠点、施設、歩行者導線の主要交差点に、下図のとおり配置する。

図 4.2.3-5-1 地図標識の配置箇所図



地図標識の設置位置などの詳細については、資料編に地図標識・計画調書を添付する。

また、それぞれの地図標識の設置場所、管理者などの概要は下表のとおりである。

表 4.2.3-5-1 湯川地区に設置する地図標識の概要

番号	設置路線名	都市計画 街路名	拠点名	案内拠点名				夜間 照明	支柱 カラー	地図の 表示距離 (km)	管理者	設置年度
				歩道側		車道側						
				名 称	誘導 距離	名 称	誘導 距離					
1	一般国道278号	放射3号線	国道交差点 ホテル集中地区	函館市熱帯植物園	510m	函館空港	3.1km	×	茶色 S23-255	1.26×1.2	国土交通省	平成 21年度
				市電湯の川温泉電停	590m	JR函館駅	5.2km					
2	湯浜通	湯浜通	湯の川温泉前電停	湯倉神社	530m	JRA函館競馬場	940m	×	茶色 S23-255	1.26×1.2	函館市	平成 21年度
				五稜郭公園	3.8km	五稜郭公園	3.8km					
3	道道函館南茅部線	中環状線	市民会館前電停 市民会館	湯倉神社	800m	トラピスチヌ修道院	3.9km	×	茶色 S23-255	1.26×1.2	北海道	平成 21年度
				五稜郭公園	3.5km	五稜郭公園	3.5km					
4	道道函館南茅部線	中環状線	湯の川電停 湯倉神社前交差点	函館市民会館	740m	五稜郭公園	4.0km	×	茶色 S23-255	1.26×1.2	北海道	平成 22年度
				トラピスチヌ修道院	3.2km	JRA函館競馬場	1.4km					
5	温泉通	温泉通	歩行者導線分岐点	市電湯の川温泉電停	650m	根崎公園	740m	×	茶色 S23-255	1.26×1.2	函館市	平成 23年度
				函館東郵便局	440m	函館空港	3.2km					

注1) 方位の表記は、全標識共に『現場合わせ式』とする。

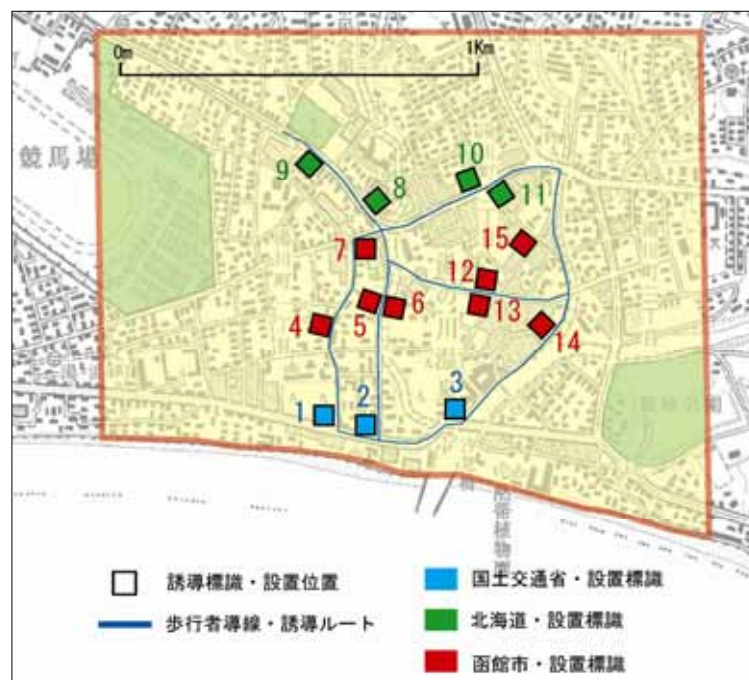
管理者別設置基数： 国土交通省 1基
北海道 2基
函館市 2基

4.2.3-6 湯川地区の誘導標識の配置

誘導標識は、地図標識の配置をベースに歩行者導線を考慮し、地図標識の中間地点、分岐交差点に配置する。

配置位置は下図のとおりである。

図 4.2.3-6-1 湯川地区に設置する誘導標識の概要



誘導標識の設置位置などの詳細については、資料編に誘導標識・計画調書を添付する。

また、それぞれの誘導標識の設置場所、管理者などの概要は下表のとおりである。

表 4.2.3-6-1 湯川地区に設置する誘導標識の概要

番号	設置路線名	都市計画 街路名称	誘導施設等の名称								支柱 カラー	設置者	設置年度
			名称(A面)	誘導 距離	名称(B面)	誘導 距離	名称(C面)	誘導 距離	名称(D面)	誘導 距離			
1	一般国道278号	放射3号線	市電湯の川温泉電停 620m	JR函館駅 910m	函館競輪場 2.2km	函館市市民会館 910m	市電湯の川温泉電停 620m				茶色 S23-255	国土交通省	平成22年度
2	一般国道278号	放射3号線	市電湯の川温泉電停 570m	函館市市民会館 870m	函館市熱帯植物園 790m	湯川黒松林 120m	市電湯の川温泉電停 570m	根崎公園 790m	函館市市民会館 870m		茶色 S23-255	国土交通省	平成21年度
3	一般国道278号	放射3号線	市電湯の川電停 890m	湯倉神社 900m	函館市熱帯植物園 290m	根崎公園 550m	湯浜公園 120m	市電湯の川電停 890m			茶色 S23-255	国土交通省	平成22年度
4	市道湯川1-25号線	—	市電湯の川温泉電停 370m	函館市市民会館 660m	市電湯の川温泉電停 370m	函館市市民会館 660m	湯川黒松林 140m	国道278号 250m			茶色 S23-255	函館市	平成23年度
5	中環状通	中環状線	市電湯の川温泉電停 240m	函館市市民会館 530m	市電湯の川温泉電停 240m	函館市市民会館 530m	函館市熱帯植物園 860m	根崎公園 1.1km	国道278号 340m		茶色 S23-255	函館市	平成23年度
6	中環状通	中環状線	函館市熱帯植物園 860m	根崎公園 1.1km	市電湯の川温泉電停 240m	函館市市民会館 540m	市電湯の川温泉電停 240m	函館市市民会館 540m			茶色 S23-255	函館市	平成23年度
7	湯浜通	湯浜通	湯川黒松林 410m	市電湯の川温泉電停 520m	湯倉神社 90m	函館市競輪場 2.3km	湯川黒松林 410m	国道278号 520m			茶色 S23-255	函館市	平成21年度
8	道道函館南茅部線	中環状線	函館渡辺病院 160m	湯倉神社 520m	五稜郭公園 3.8km	JRA函館競馬場 940m	函館渡辺病院 160m	市電湯の川電停 450m	函館市市民会館 280m		茶色 S23-255	北海道	平成23年度
9	道道函館南茅部線	中環状線	五稜郭公園 3.5km	JRA函館競馬場 650m	五稜郭公園 3.5km	JRA函館競馬場 650m	湯倉神社 820m	市電湯の川温泉電停 270m			茶色 S23-255	北海道	平成23年度
10	道道函館南茅部線	中環状線	函館市湯川支所 300m	市電湯の川電停 150m	湯倉神社 220m	五稜郭公園 4.0km	函館市湯川支所 300m	市電湯の川温泉電停 300m			茶色 S23-255	北海道	平成22年度
11	道道函館南茅部線	中環状線	函館市湯川支所 340m	市電湯の川温泉電停 380m	湯倉神社 190m	五稜郭公園 4.2km	函館市湯川支所 340m	湯倉神社 190m			茶色 S23-255	北海道	平成22年度
12	温泉通	温泉通	湯倉神社 600m	函館市熱帯植物園 680m	市電湯の川温泉電停 430m	湯倉神社 600m	湯倉神社 600m				茶色 S23-255	函館市	平成24年度
13	温泉通	温泉通	湯倉神社 610m	函館市熱帯植物園 680m	湯倉神社 610m	函館市市民会館 740m	湯倉神社 610m	湯倉神社 610m	湯倉神社 610m		茶色 S23-255	函館市	平成24年度
14	市道湯川12-29号線	—	市電湯の川電停 620m	湯倉神社 620m	函館市熱帯植物園 540m	湯倉神社 620m	函館市熱帯植物園 540m	湯倉神社 620m	湯倉神社 620m		茶色 S23-255	函館市	平成24年度
15	市道湯川13-7号線	—	市電湯の川電停 340m	湯倉神社 420m	函館市熱帯植物園 860m	湯倉神社 420m	市電湯の川電停 340m	湯倉神社 420m	函館市熱帯植物園 860m		茶色 S23-255	函館市	平成24年度

注) 名称(D面)に誘導施設がない場合は、『住所』を記載する。

管理者別設置基數： 国土交通省 3基
北海道 4基
函館市 8基

5 整備のスケジュール

5.1 計画設置基数の内訳

配置計画に基づく各地区の案内標識の設置基数および管理者別の設置基数は、下表のとおりである。

表 5.1-1 地区別の設置基数

種別 / 地区	西部地区	五稜郭地区	湯川地区	標識種別合計
地図	21基	6基	5基	32基
誘導	42基	15基	15基	72基
地区別基数計	63基	21基	20基	104基

表 5.1-2 地区別の管理者設置基数の内訳

地区/管理者		国土交通省	北海道	函館市	標識種別合計
西部地区	地図	5基	3基	13基	21基
	誘導	10基	1基	31基	42基
五稜郭地区	地図	-	4基	2基	6基
	誘導	-	12基	3基	15基
湯川地区	地図	1基	2基	2基	5基
	誘導	3基	4基	8基	15基

表 5.1-3 管理者別の設置基数

種別 / 管理者	国土交通省	北海道	函館市	標識種別合計
地図	6基	9基	17基	32基
誘導	13基	17基	42基	72基
管理者別基数計	19基	26基	59基	104基

5.2 整備スケジュール

5.2.1 計画整備期間

案内標識の整備期間は、できるだけ短期間に整備することが望まれるが、各管理者の予算の確保などの課題もあることから、計画整備期間を平成21年度～平成24年度までの4年間とする。

5.2.2 整備スケジュール

整備は、各地区並行して順次行うものとする。

整備の順序は、利用者の数、整備効果、案内の連続性などを考慮して決める。

下表は、本計画における、年度別の各地区、各管理者、標識種類別の標識番号、および設置基数内訳である。

表 5.2.2-1 地区別・年度別、計画設置基数

地区名	管理者	種別	平成21年度 (H20試験設置含む)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	合計
西部地区	国土交通省	地図	2, 3, 14	6	4	—	5
		誘導	1, 2, 22, 23, 24, 25	6, 7, 10	3	—	10
		計	9	4	2	—	15
	北海道	地図	9, 10	15	—	—	3
		誘導	19	—	—	—	1
		計	3	1	0	—	4
	函館市	地図	1, 5, 7, 8, 17, 18, 20	12, 19	13, 21	11, 16	13
		誘導	20, 21, 30	9, 15, 26, 29, 31, 32, 33, 34, 35, 40	4, 5, 8, 11, 27, 28, 42	12, 13, 14, 16, 17, 18, 36, 37, 38, 39, 41	31
		計	10	12	9	13	44
	合計基数			22	17	11	13
五稜郭地区	国土交通省	地図	—	—	—	—	0
		誘導	—	—	—	—	0
		計	—	—	—	—	0
	北海道	地図	3, 4	1, 2	—	—	4
		誘導	5, 6	9, 13, 14, 15	1, 2, 3, 4, 7, 8	—	12
		計	4	6	6	—	16
	函館市	地図	—	5	6	—	2
		誘導	—	10	—	11, 12	3
		計	—	2	1	2	5
	合計基数			4	8	7	2
湯川地区	国土交通省	地図	1	—	—	—	1
		誘導	2	1, 3	—	—	3
		計	2	2	—	—	4
	北海道	地図	3	4	—	—	2
		誘導	—	10, 11	8, 9	—	4
		計	1	3	2	—	6
	函館市	地図	2	—	5	—	2
		誘導	7	—	4, 5, 6	12, 13, 14, 15	8
		計	2	—	4	4	10
	合計基数			5	5	6	4

地区名	種別	平成21年度 (H20試験設置含む)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	合計
西部地区	地図	12	4	3	2	21
	誘導	10	13	8	11	42
	計	22	17	11	13	63
五稜郭地区	地図	2	3	1	0	6
	誘導	2	5	6	2	15
	計	4	8	7	2	21
湯川地区	地図	3	1	1	0	5
	誘導	2	4	5	4	15
	計	5	5	6	4	20
合計	地図	17	8	5	2	32
	誘導	14	22	19	17	72
	計	31	30	24	19	104

表 5.2.2-2 管理者別・年度別、計画設置基数

地区名	管理者	種別	平成21年度 (H20試験設置含む)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	合計
3地区 合計基数	国土交通省	地図	4	1	1	0	6
		誘導	7	5	1	0	13
		計	11	6	2	0	19
	北海道	地図	5	4	0	0	9
		誘導	3	6	8	0	17
		計	8	10	8	0	26
	函館市	地図	8	3	4	2	17
		誘導	4	11	10	17	42
		計	12	14	14	19	59
	合計	地図	17	8	5	2	32
誘導		14	22	19	17	72	
計		31	30	24	19	104	

また、各地区の年度別の整備標識の位置は、下図のとおりである。

図 5.2.2-1 西部地区の年度別・整備標識位置図

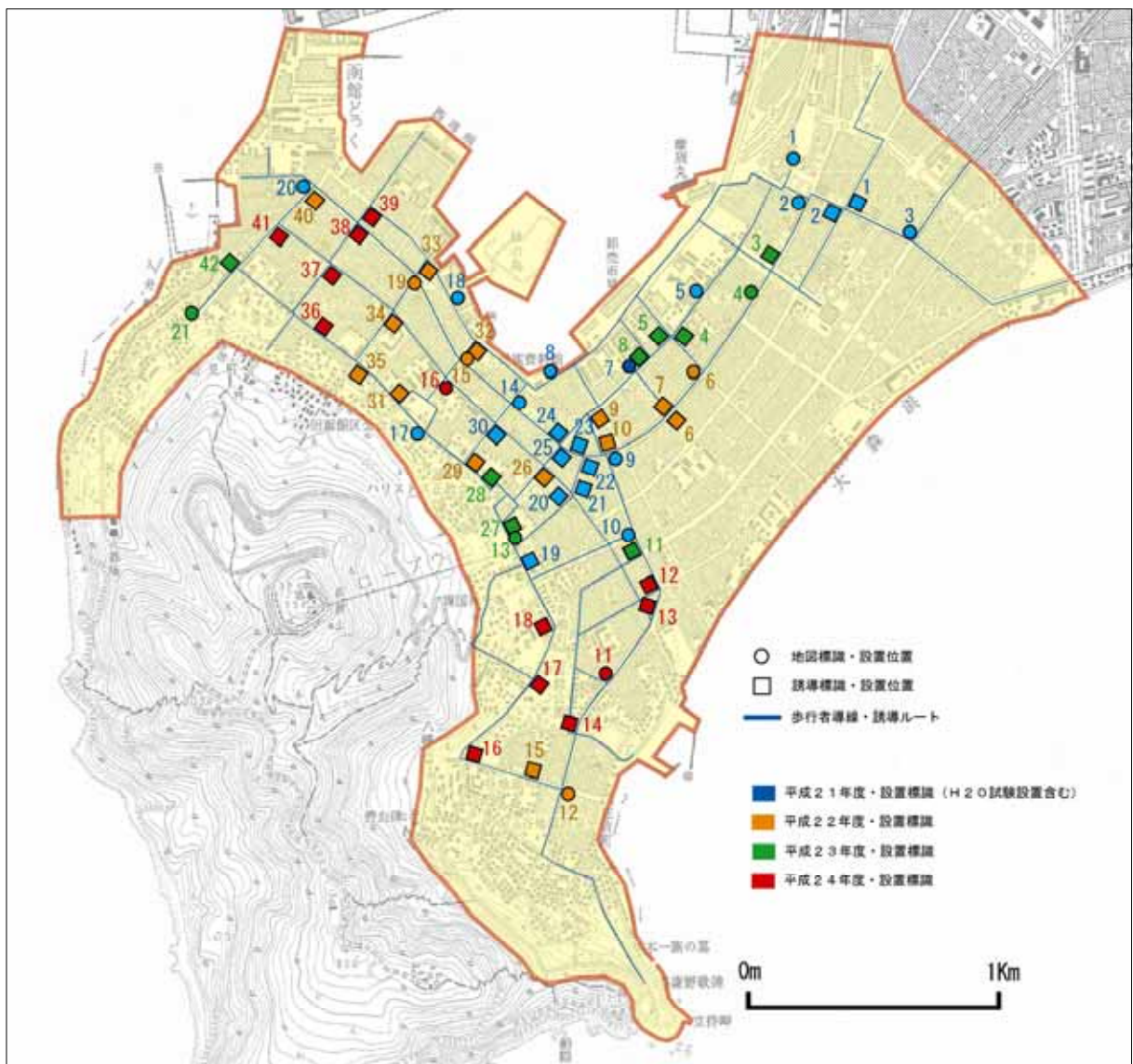
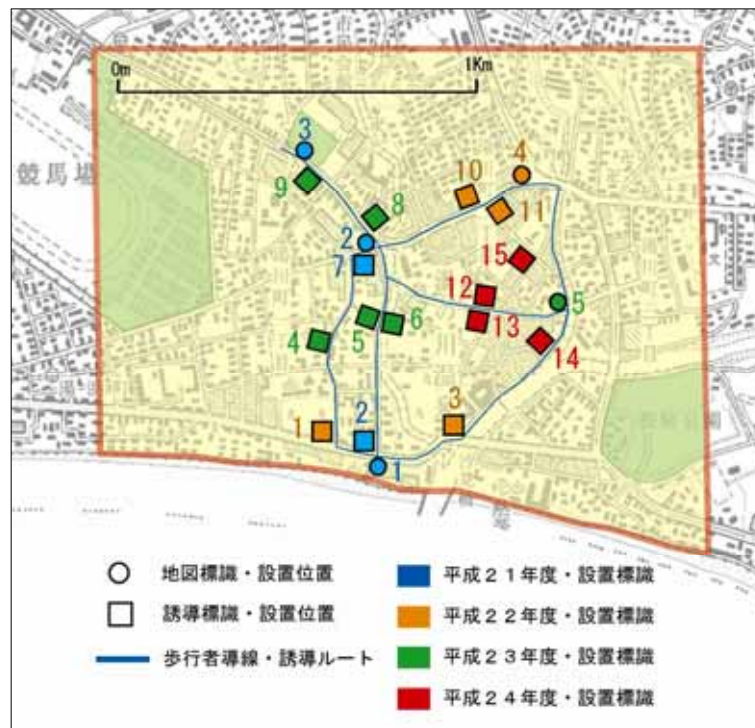


図 5.2.2-2 五稜郭地区の年度別・整備標識位置図



図 5.2.2-3 湯川地区の年度別・整備標識位置図



6 維持管理方針

6.1 概説

案内標識は物理的な劣化だけでなく、情報が古くなることによってその役割を果たさなくなる。古い情報を提供することによって不適切な案内が行われることを防止するためには、定期的な点検や情報収集により更新された情報を把握する必要がある。

6.2 点検及び補修方法

案内標識の点検は、主に標識の損傷の発見及び表記情報の変更の有無を確認することであり、定期的な巡回及び情報収集により行われ、損傷及び表記情報の変更が認められた場合は、できるだけ早く対応しなければならない。

地図標識及び誘導標識の表記情報の変更が認められた場合の更新方法は下記のとおりとする。

地図標識の更新方法

部分的な表示の変更が認められた場合は、変更部分のみをカットして剥ぎ取り、情報を更新した同サイズのシートを貼り付ける。

全面的な表示の変更及び部分的な変更が顕著になってきた場合は、既存のシートを全て剥ぎ取り、新しいシートを貼り付ける。

誘導標識の更新方法

誘導している施設に変更が生じた場合は、その都度、部分的な修正を行う。また、印刷の劣化などがある場合は、既存のシートを全て剥がし、新しいシートを貼り付ける。